

がん教育外部講師養成プロジェクト
評価と提言

2021年6月

一般社団法人全国がん患者団体連合会

がん教育外部講師養成プロジェクト評価委員会

目次

1. がん教育外部講師養成プロジェクト概要.....	P1
2. がん教育外部講師養成プロジェクト・評価委員会からの評価報告.....	P4
3. 「がん教育外部講師のための e ラーニング」についてアンケート結果(受講修了者)・・	P18
4. 「がん教育外部講師のための e ラーニング」についてアンケート結果(未修了者).....	P40
5. がん教育外部講師プロジェクト評価委員会からの提言.....	P48

全国がん患者団体連合会 がん教育外部講師養成プロジェクト

■がん教育外部講師養成プロジェクトとは

全国がん患者団体連合会において、実行委員会を開き、以下の2つの事業を実施した。

① がん教育外部講師のための eラーニング制作

1. 背景と目的

2020年より中学校において「がん教育」がスタートすることを見込み、全国で「がん教育」に向けたモデル事業も進んできた。医療者やがん経験者による外部講師の必要性はすでにモデル事業などでも実践されているが、具体的な研修を実施している都道府県は少ない。がん教育スタートに合わせて、がん教育における最低限の知識と配慮事項を学ぶ「eラーニング教材」を作成し受講してもらうことで、全国の外部講師のボトムアップと外部講師のリスト化を目的とする。

2. 事業期間:2019年7月～2023年3月

3. 事業内容:「がん教育外部講師養成プロジェクト実行委員会」を立ち上げ、医療者またはがん経験者・家族を対象とした、がん教育の基礎的な「eラーニングコンテンツ(スライド/動画/教材)」を作成し、リストを配布、管理する。



4. がん教育外部講師リスト修了者人数(2021年5月末日)

医療者 : 499名(その他 未修了:312名、登録のみ:773名)

がん経験者、家族、遺族 : 571名(その他 未修了:343名、登録のみ:800名)

②がん教育における配慮事項ガイドライン作成

■背景と目的

手探りで進む「がん教育」において「配慮事項」を大切にしていくことは子どもたちを守り、よりがんについての知識やいのちの大切さを深めるよい機会となる。よって、「がん教育外部講師養成プロジェクト」の1つとして「がん教育における配慮事項ガイドライン」を作成するはこびとなった。

■事業内容:「がん教育外部講師養成プロジェクト実行委員会」を立ち上げ、配慮事項ガイドラインについて協議・策定を行い、冊子化し各都道府県の教育委員会、がん診療連携拠点病院、患者団体へ配布を行った。

■事業期間:2019年7月～2019年12月

■ガイドライン発行日:2020年2月

■成果物:「がん教育における配慮事項ガイドライン」冊子

■執筆者/(敬称略)

小林 真理子(放送大学大学院 臨床心理学プログラム教授)

副島 賢和(昭和大学大学院 保健医療学研究科 准教授)

三好 綾(一般社団法人全国がん患者団体連合会理事/NPO法人がんサポートかごしま理事長)

若尾 文彦(国立がん研究センターがん対策情報センターセンター長)



③評価委員会の実施

■目的:全国がん患者団体連合会が取り組んできた「がん教育外部講師養成プロジェクト」の成果物「がん教育外部講師のためのeラーニング」・「がん教育における配慮事項ガイドライン」についての評価を行い、次回の改訂に向けての改善案などを協議する。

■評価の方法:外部アドバイザー委員からの意見をもとに「評価シート」を作成し、評価委員にプロジェクトの成果物について評価してもらう。eラーニング受講者へのwebアンケートを実施した結果を合わせて、「がん教育外部講師養成プロジェクト」の評価報告書を作成し、改訂に向けての提言を示す。

■評価委員メンバーについて

●がん教育外部講師養成プロジェクト評価委員会・委員 ★委員長

1、教育の立場 :★助友裕子先生(国立がん研究センター、日本女子体育大)

1、教育委員会 :◎望月理香さん(元山梨県教育庁保健体育課・小学校養護教諭)

2、学校教諭 :◎西村和佳子さん(学校教員、サバイバー)

- 3、研究者 :◎片山佳代子先生(神奈川県立がんセンター/群馬大学)
- 4、がん経験者 :◎志賀俊彦さん(茨城がん体験談スピーカーバンク代表、サバイバー)
- 5、メディア :◎上野創さん(朝日新聞、サバイバー)

●外部アドバイザー委員

- 1、◎渡邊清高先生(帝京大学)
- 2、◎吉森公恵さん(全国がん患者団体連合会がん教育委員会・NPO法人愛媛がんサポートおれんじの会)

■実施日程

- 第1回評価委員会:2020年12月15日(火)19時~21時
- 第2回評価委員会:2021年3月30日(火)20時~21時半
- 第3回評価委員会:2021年6月14日(月)19時~21時

■成果物:「がん教育外部講師養成プロジェクト・評価報告2021」報告書

「がん教育外部講師養成プロジェクト」 評価委員会からの評価報告

- ①「がん教育における配慮事項ガイドライン」
- ②「がん教育外部講師のためのeラーニング 講義内容」
- ③「がん教育外部講師のためのeラーニング テスト」

それぞれについて検討いただき、下記の点で評価を依頼した。

- 【内容】 : 項目に合う内容として過不足がないか
- 【表現の適切さ】 : 文章や言葉遣いが断定的で押し付けるような表現になっていないか
配慮した表現になっているか
- 【わかりやすさ】 : 専門用語が多く難解な解説になっていないか
- 【正確さ】 : 科学的知見や学習指導要領などに基づいているか

●評価基準は次のとおり

- a : 適切である
- b : 一部修正が望ましい
- c : 大幅な改訂が望ましい
- d : 判断できない

bまたはcの評価をつけられた場合は、具体的な指摘、提案の記載を依頼した。

次ページ以降に、a~dそれぞれの評価をした評価委員の人数をグラフ化し記載する。

■評価委員メンバー

●がん教育外部講師養成プロジェクト評価委員会・委員 ★委員長

教育の立場 : ★助友裕子先生 (国立がん研究センター、日本女子体育大)

教育委員会 : ◎望月理香さん (元山梨県教育庁保健体育課・養護教諭)

学校教諭 : ◎西村和佳子さん (学校教員、サバイバー)

研究者 : ◎片山佳代子先生 (神奈川県立がんセンター／群馬大学)

がん経験者 : ◎志賀俊彦さん (茨城がん体験談スピーカーバンク代表、サバイバー)

メディア : ◎上野創さん (朝日新聞、サバイバー)

●外部アドバイザー委員

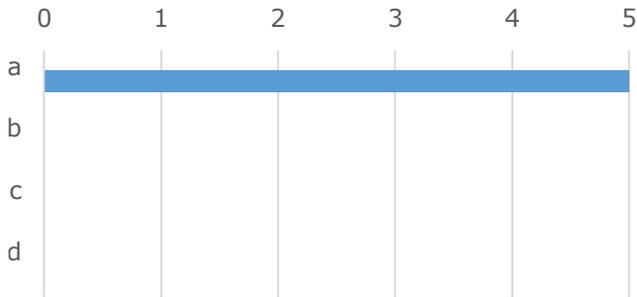
◎渡邊清高先生 (帝京大学)

◎吉森公恵さん (全国がん患者団体連合会がん教育委員会・愛媛がんサポートおれんじの会)

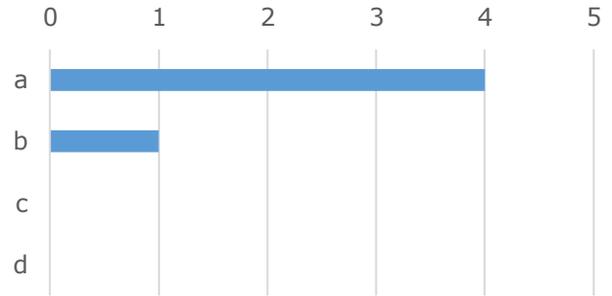
ガイドライン 1. がん教育とは

a : 適切である
 b : 一部修正が望ましい
 c : 大幅な改訂が望ましい
 d : 判断できない

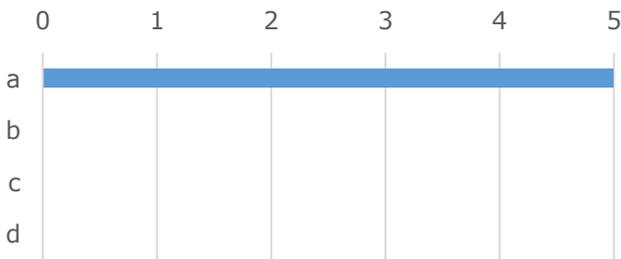
内容



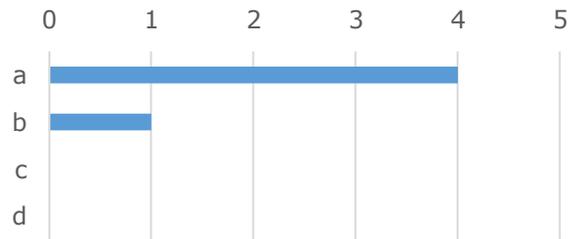
表現の適切さ



わかりやすさ

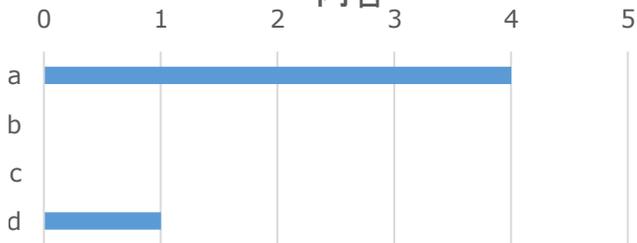


正確さ

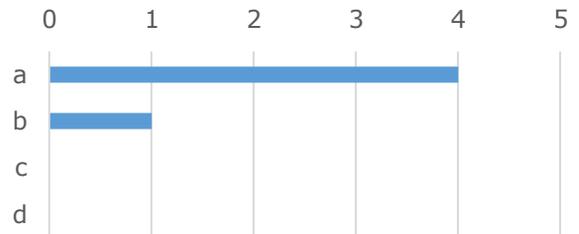


ガイドライン 2. 学校における基本的な配慮事項と対応例

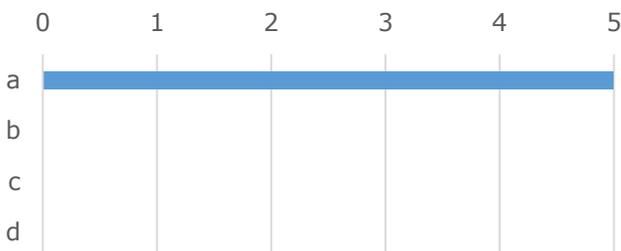
内容



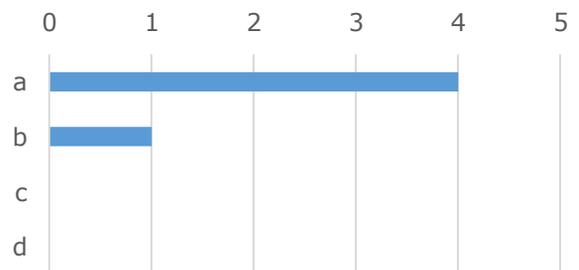
表現の適切さ



わかりやすさ

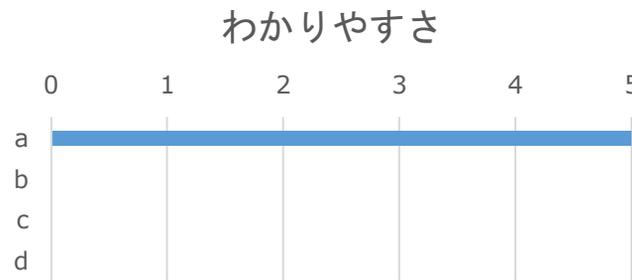


正確さ



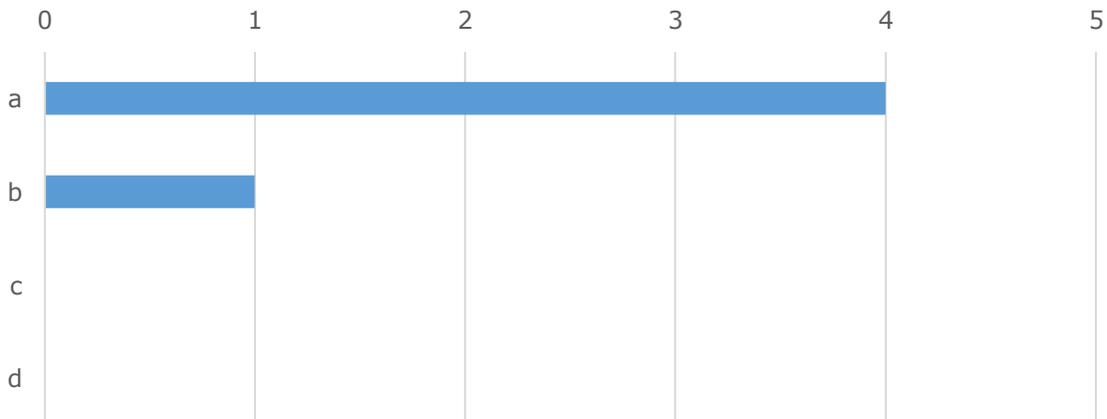
ガイドライン 3. 学校における「がん」に関する基本的な配慮事項と対応例

a : 適切である
b : 一部修正が望ましい
c : 大幅な改訂が望ましい
d : 判断できない



ガイドライン 総合評価

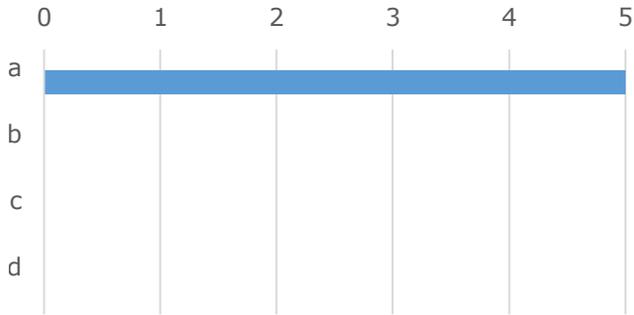
①の総合評価



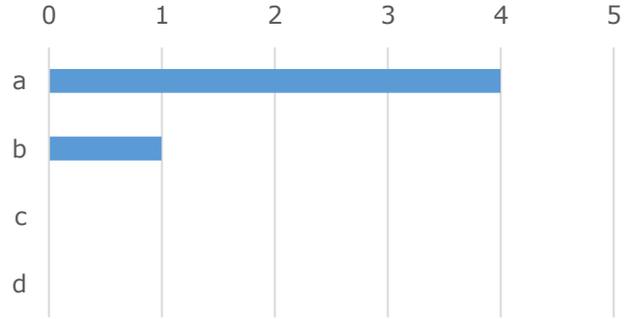
e-learning講義内容 1. がん教育の概要

a: 適切である
b: 一部修正が望ましい
c: 大幅な改訂が望ましい
d: 判断できない

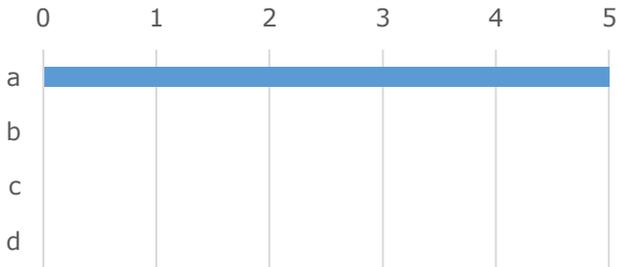
内容



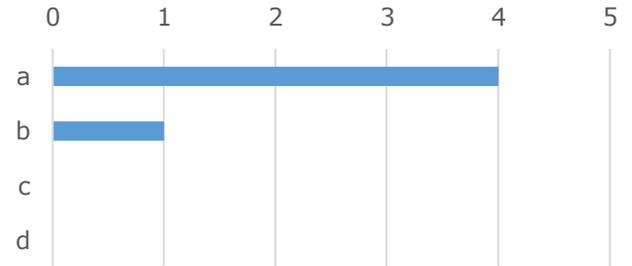
表現の適切さ



わかりやすさ



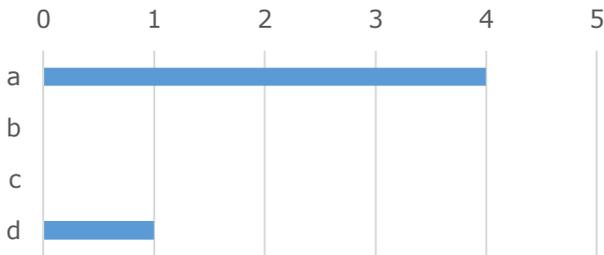
正確さ



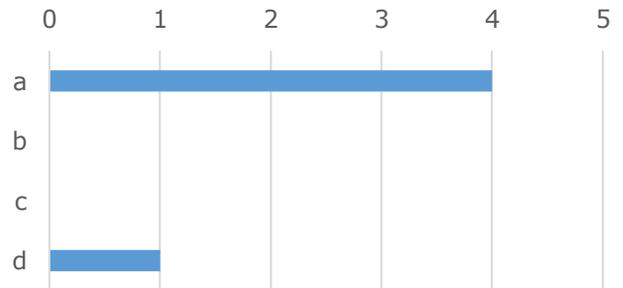
e-learning講義内容 2. 外部講師に求められるもの

2. 外部講師に求められるもの

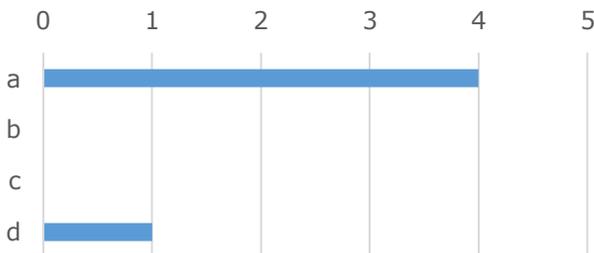
内容



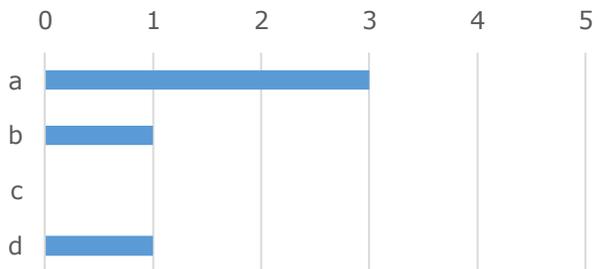
表現の適切さ



わかりやすさ



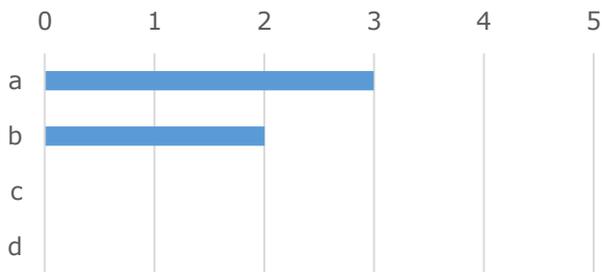
正確さ



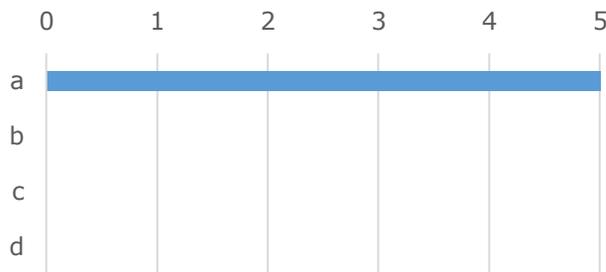
e-learning講義内容 3. がんの知識①

a: 適切である
 b: 一部修正が望ましい
 c: 大幅な改訂が望ましい
 d: 判断できない

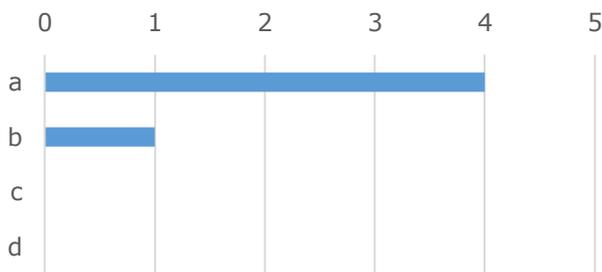
内容



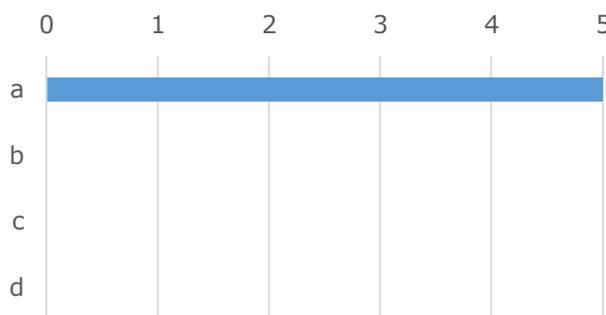
表現の適切さ



わかりやすさ

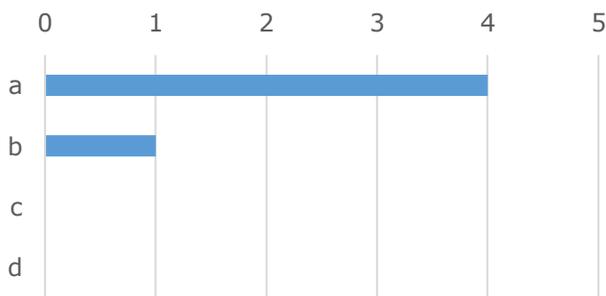


正確さ

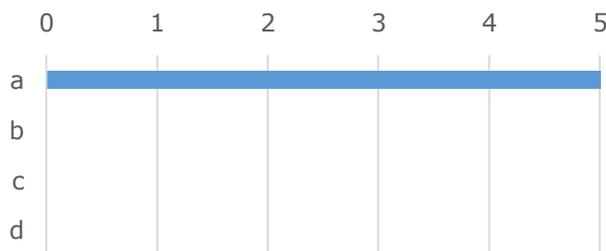


e-learning講義内容 4. がんの知識②

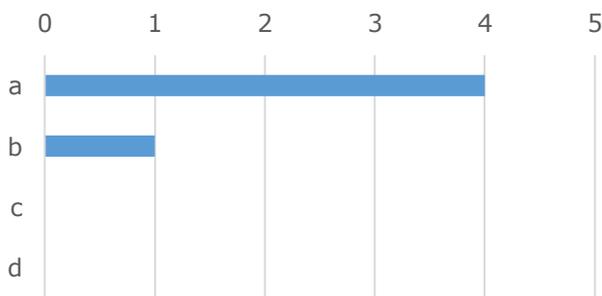
内容



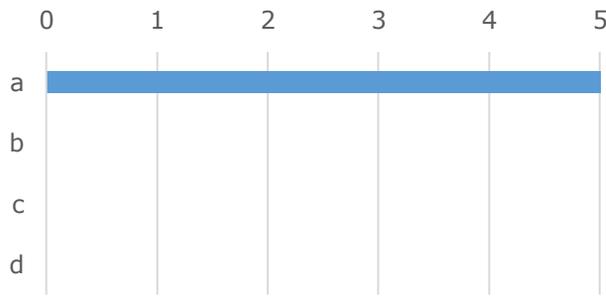
表現の適切さ



わかりやすさ



正確さ

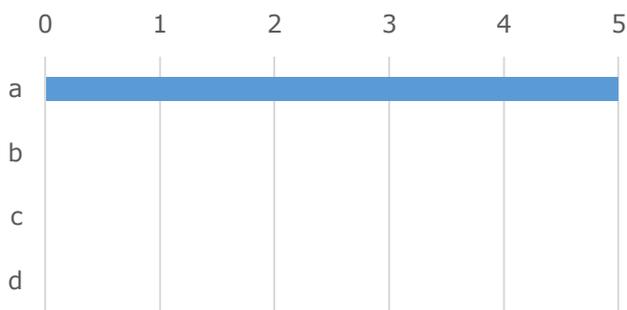


e-learning講義内容

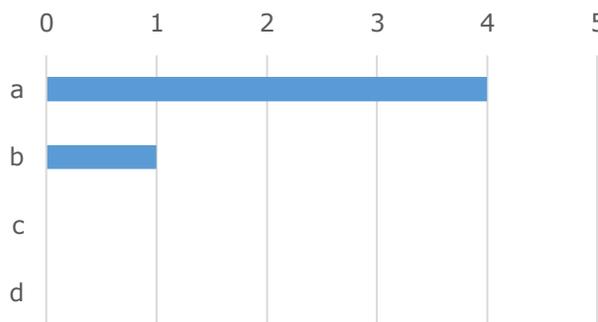
5. 授業実施における具体的な心構え

- a: 適切である
- b: 一部修正が望ましい
- c: 大幅な改訂が望ましい
- d: 判断できない

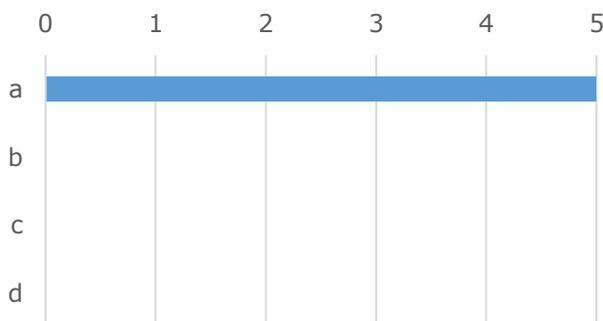
内容



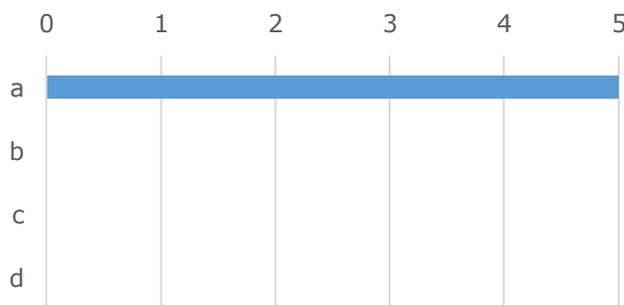
表現の適切さ



わかりやすさ

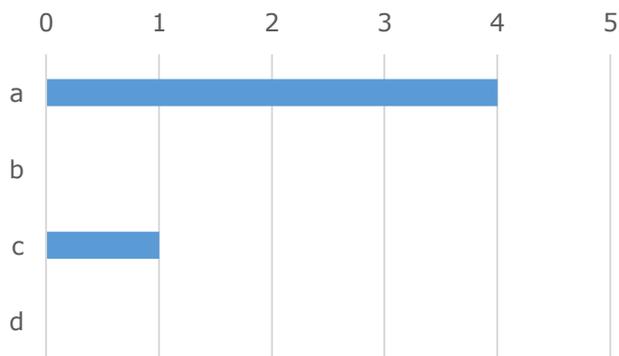


正確さ

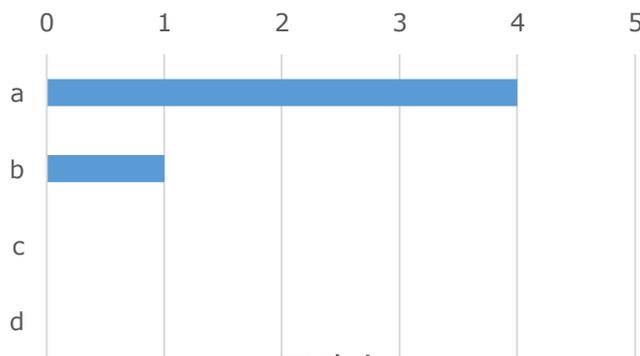


e-learning講義内容 6. 子どもへの配慮事項と対応

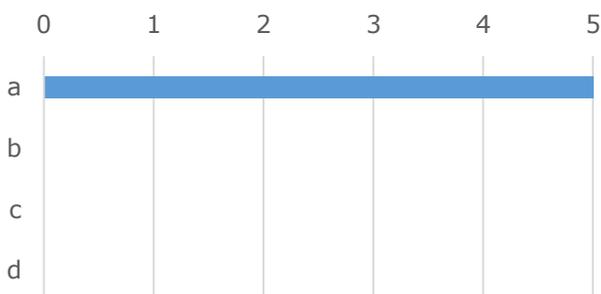
内容



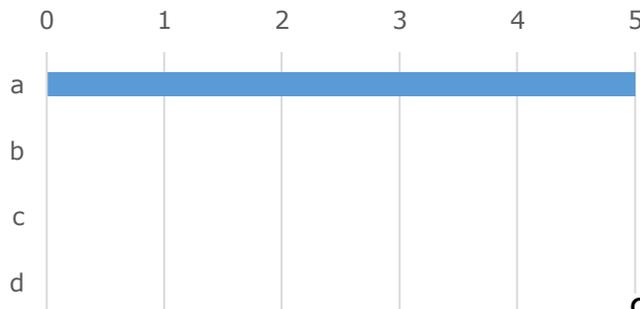
表現の適切さ



わかりやすさ



正確さ

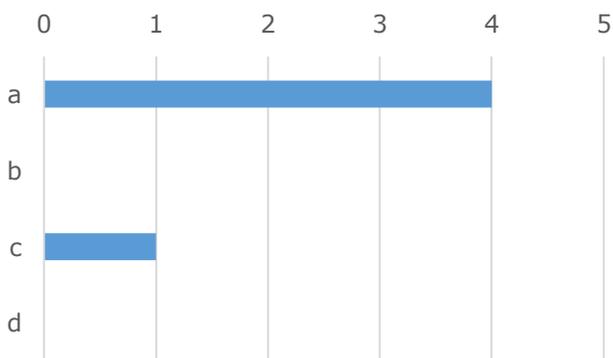


e-learning講義内容

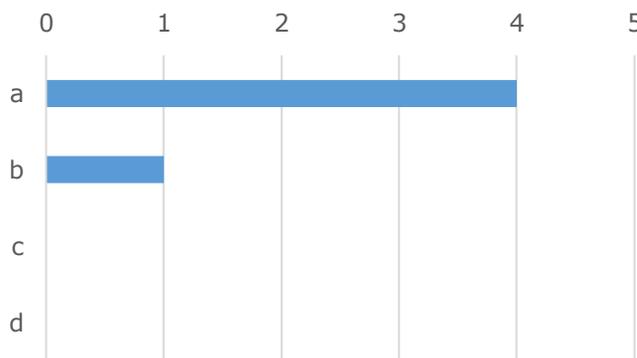
7. 病と過ごす子どもたちについて

- a: 適切である
- b: 一部修正が望ましい
- c: 大幅な改訂が望ましい
- d: 判断できない

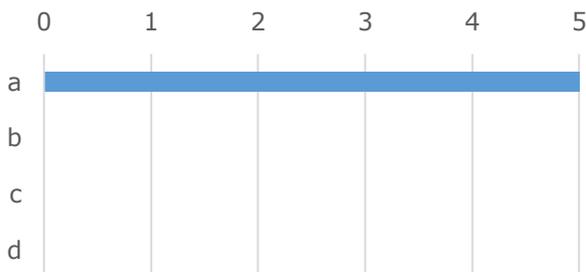
内容



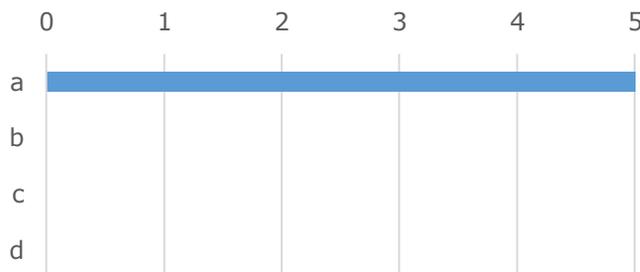
表現の適切さ



わかりやすさ



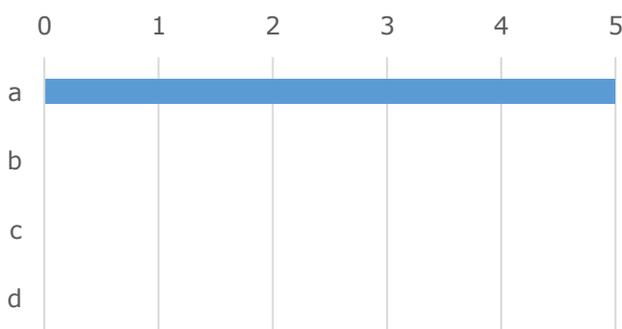
正確さ



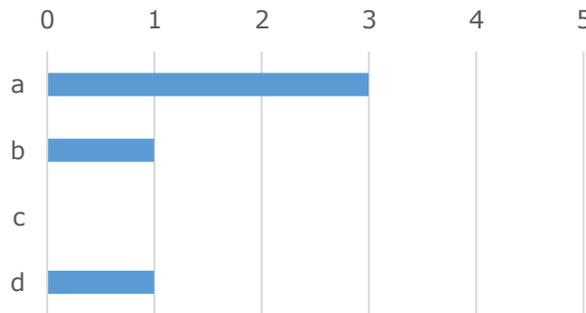
e-learning講義内容

8. 医療者としての心構え

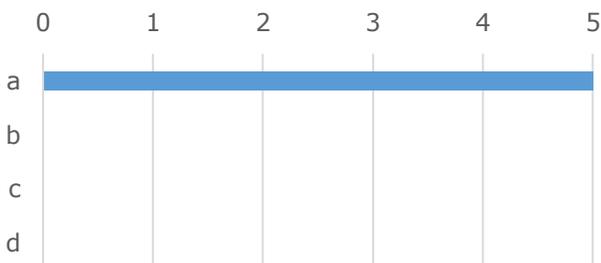
内容



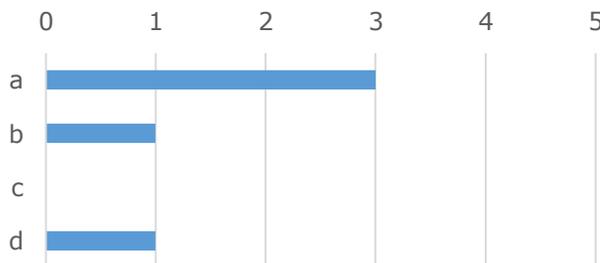
表現の適切さ



わかりやすさ

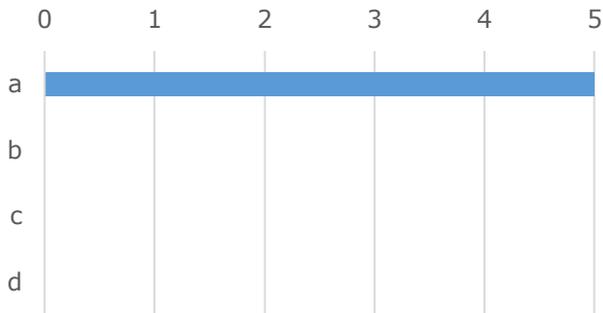


正確さ

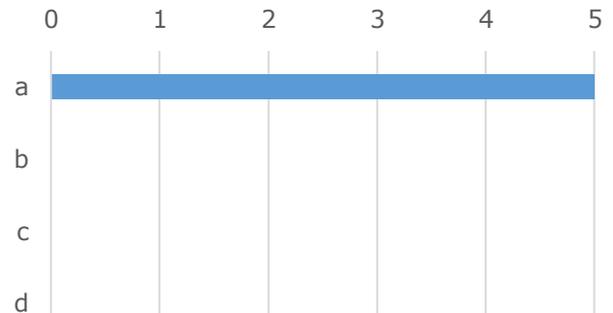


a : 適切である
b : 一部修正が望ましい
c : 大幅な改訂が望ましい
d : 判断できない

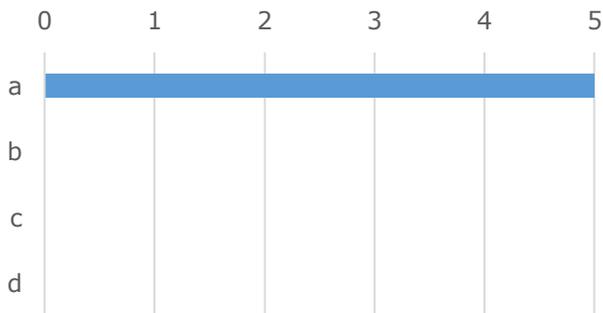
内容



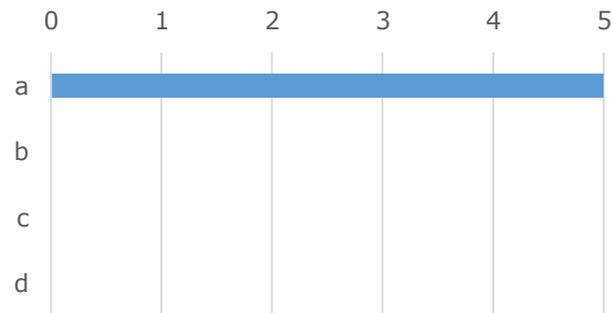
表現の適切さ



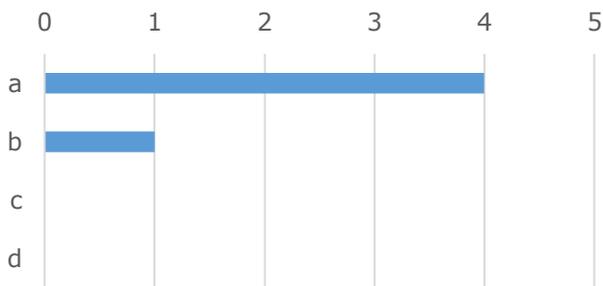
わかりやすさ



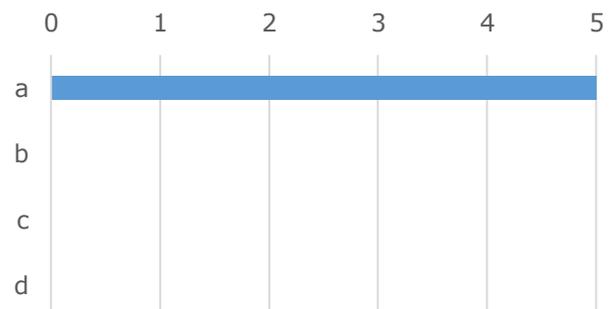
正確さ



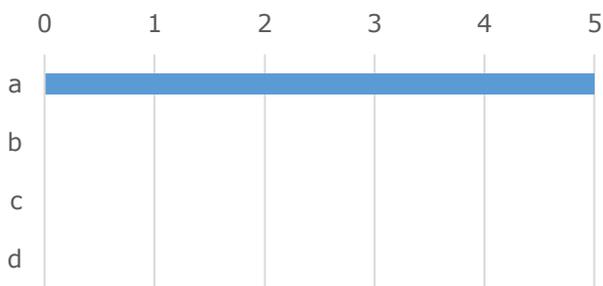
内容



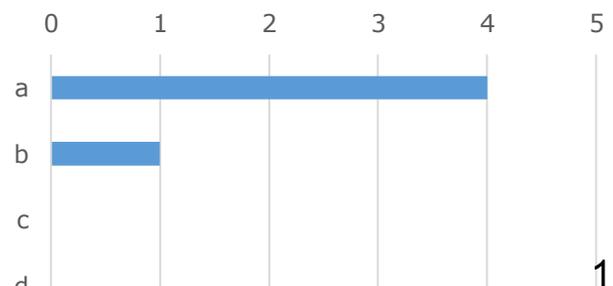
表現の適切さ



わかりやすさ



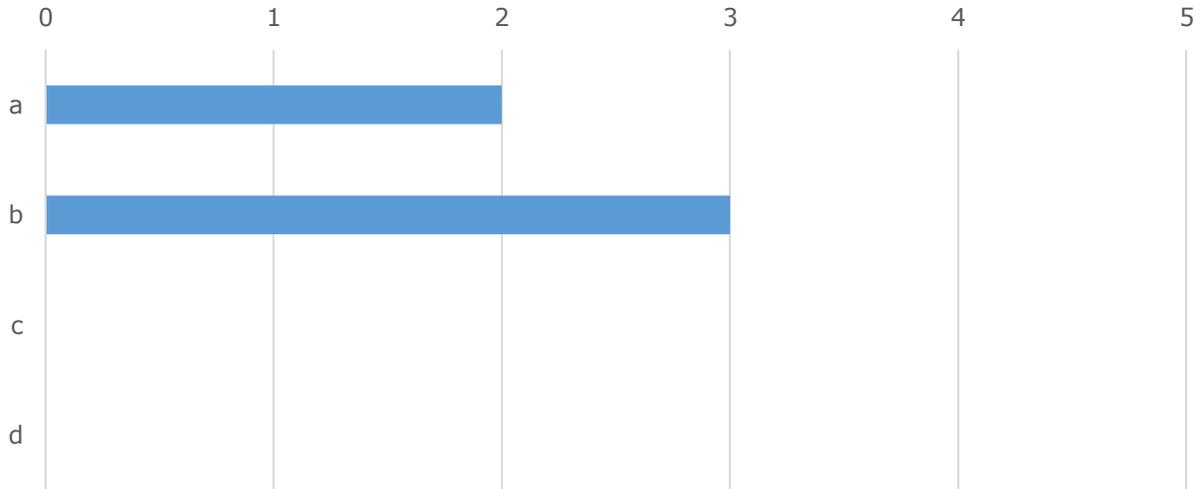
正確さ



e-learning講義内容 総合評価

- a : 適切である
- b : 一部修正が望ましい
- c : 大幅な改訂が望ましい
- d : 判断できない

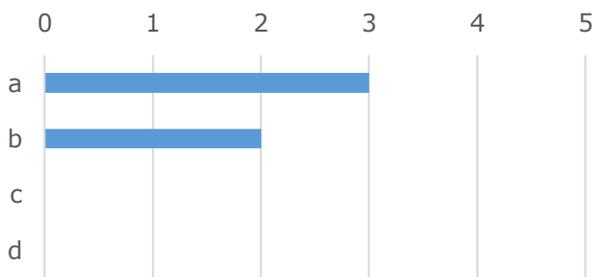
総合評価



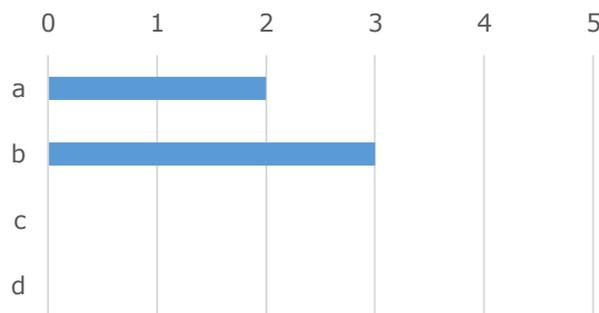
e-learningテスト 1. がん教育の概要

a : 適切である
 b : 一部修正が望ましい
 c : 大幅な改訂が望ましい
 d : 判断できない

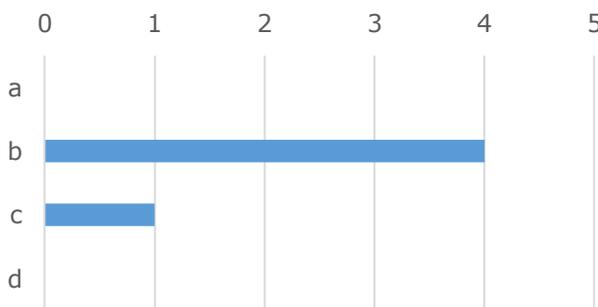
内容



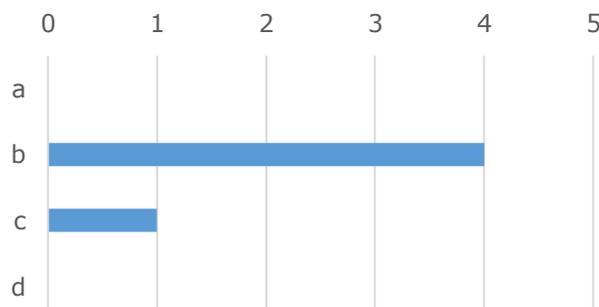
表現の適切さ



わかりやすさ

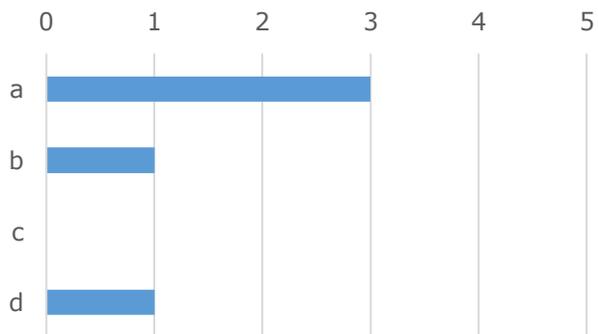


正確さ

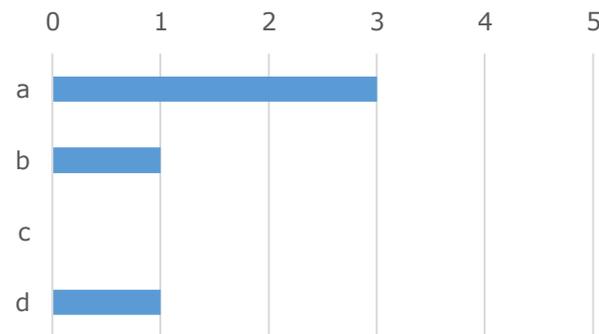


e-learningテスト 2. 外部講師に求められるもの

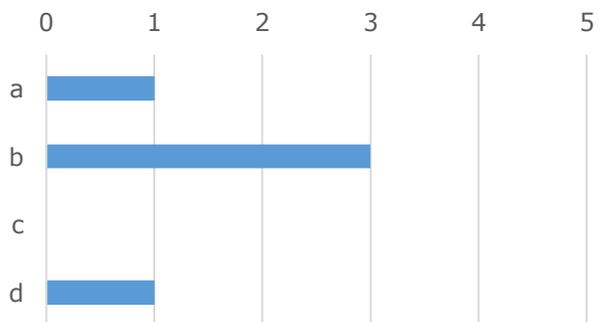
内容



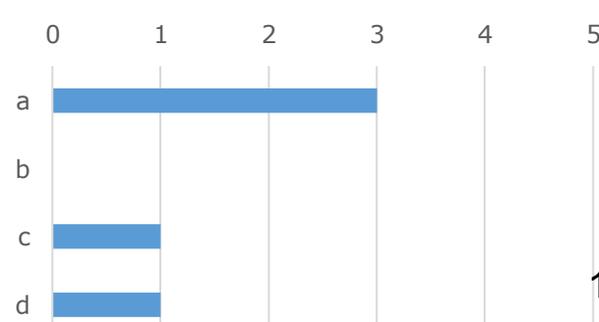
表現の適切さ



わかりやすさ



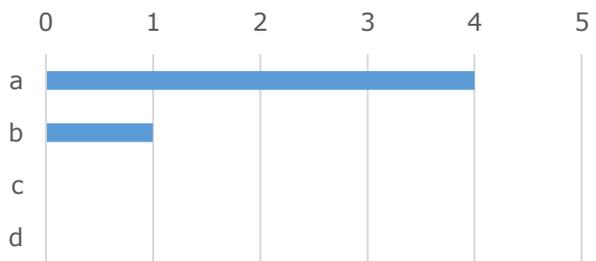
正確さ



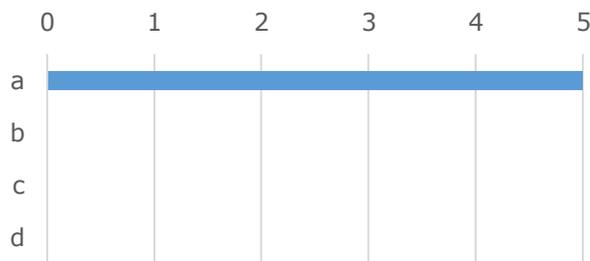
e-learningテスト 3. がんの知識①

a : 適切である
 b : 一部修正が望ましい
 c : 大幅な改訂が望ましい
 d : 判断できない

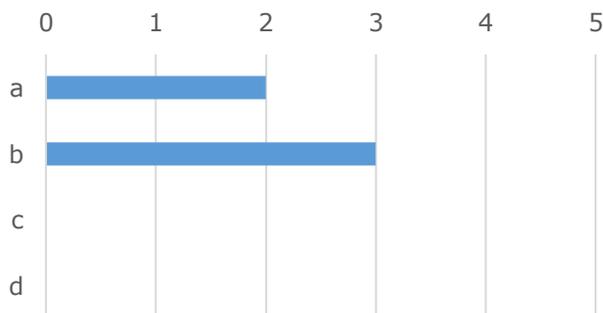
内容



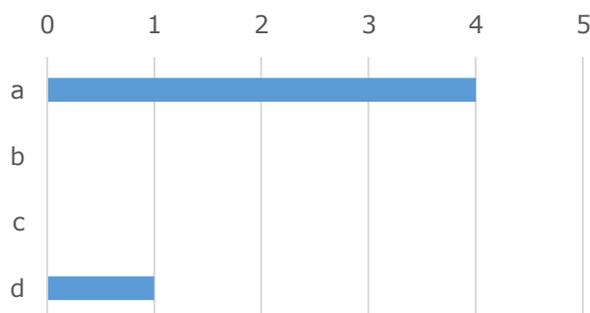
表現の適切さ



わかりやすさ

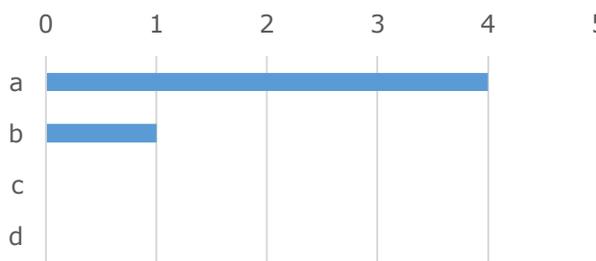


正確さ

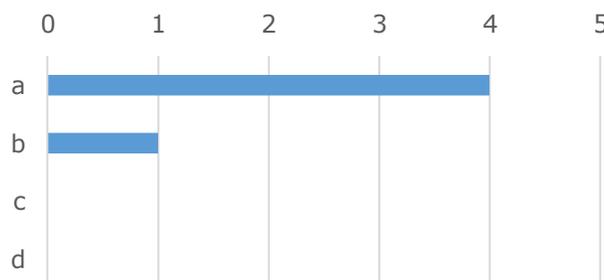


e-learningテスト 4. がんの知識②

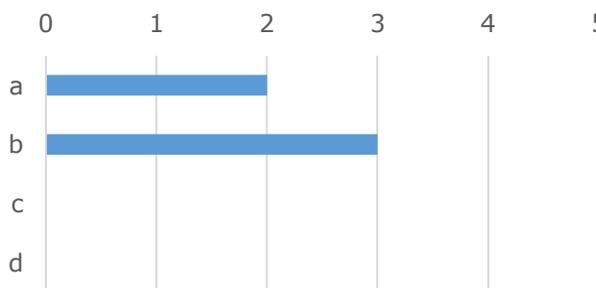
内容



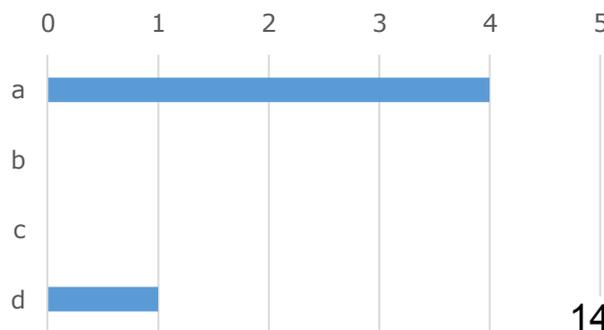
表現の適切さ



わかりやすさ



正確さ

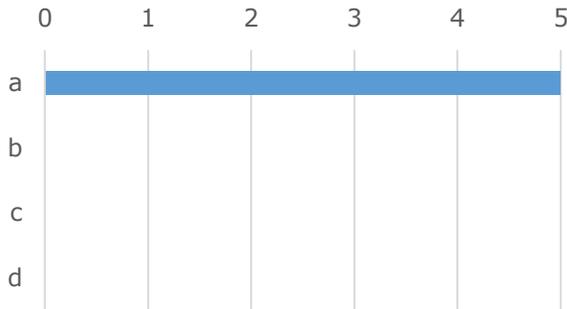


e-learningテスト

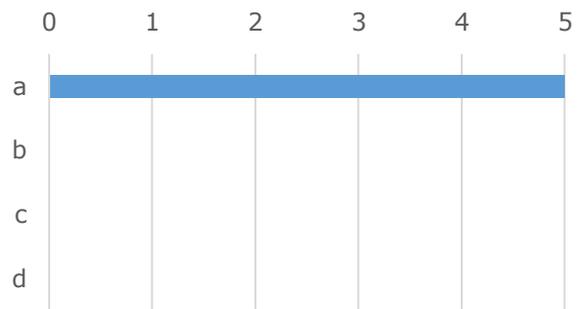
5. 授業実施における具体的な心構え

- a: 適切である
- b: 一部修正が望ましい
- c: 大幅な改訂が望ましい
- d: 判断できない

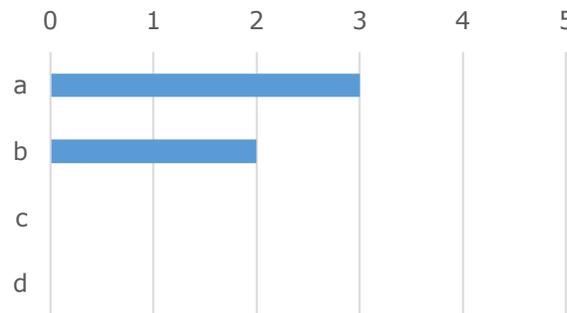
内容



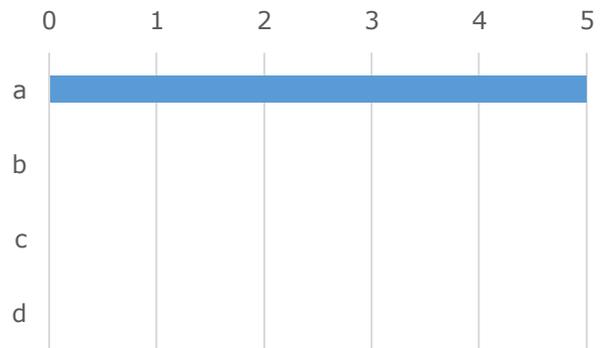
表現の適切さ



わかりやすさ

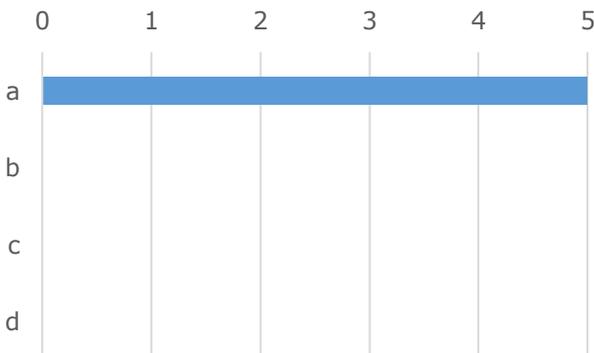


正確さ

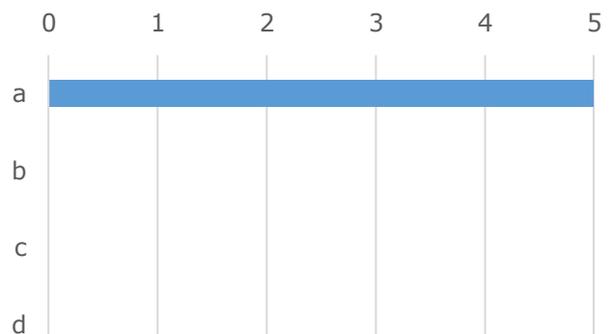


e-learningテスト 6. 子どもへの配慮事項と対応について

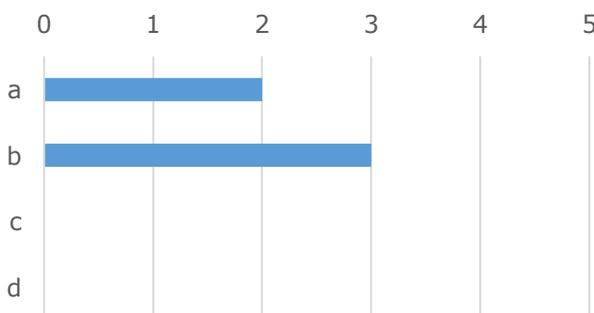
内容



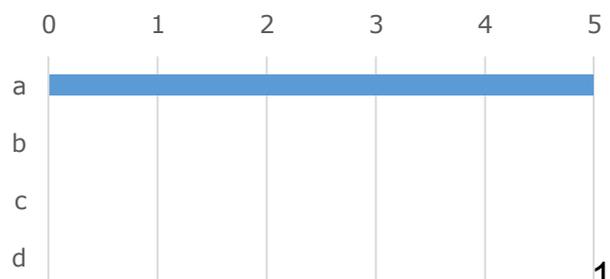
表現の適切さ



わかりやすさ



正確さ

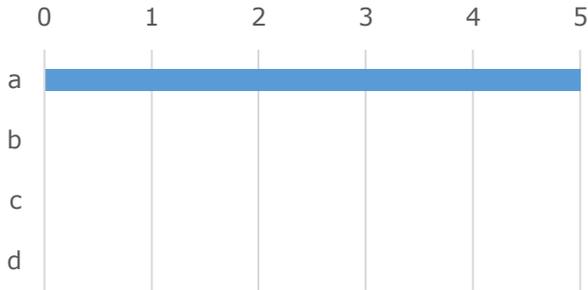


e-learningテスト

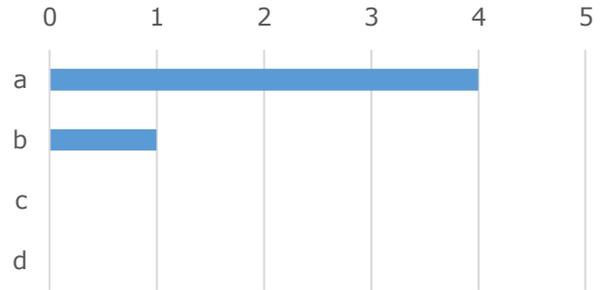
7. 病と過ごす子どもたちについて

- a : 適切である
- b : 一部修正が望ましい
- c : 大幅な改訂が望ましい
- d : 判断できない

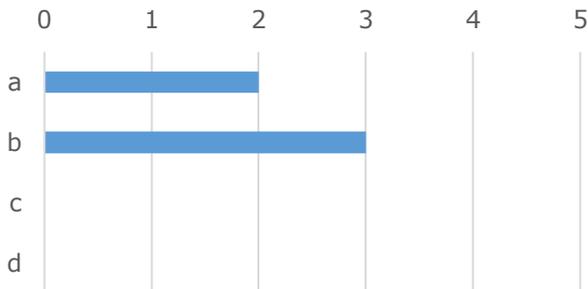
内容



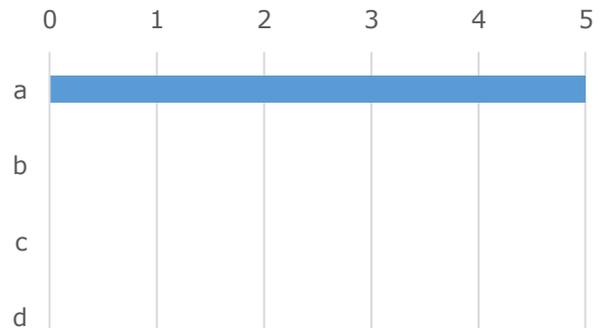
表現の適切さ



わかりやすさ



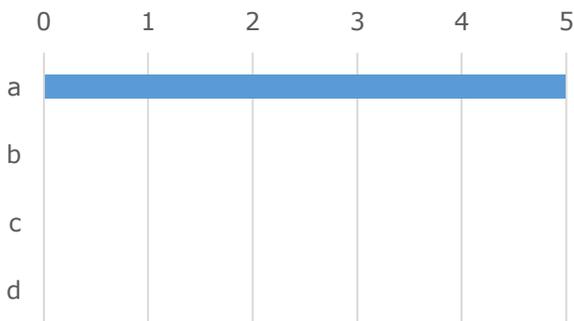
正確さ



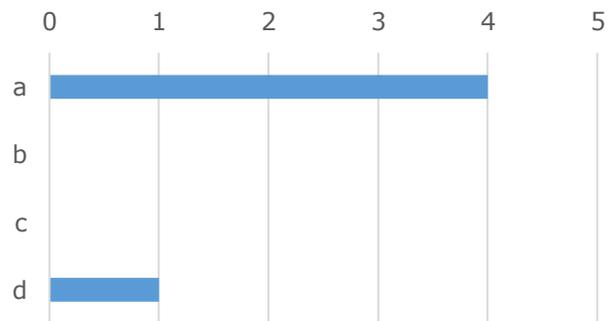
e-learningテスト

8. 医療者としての心構え

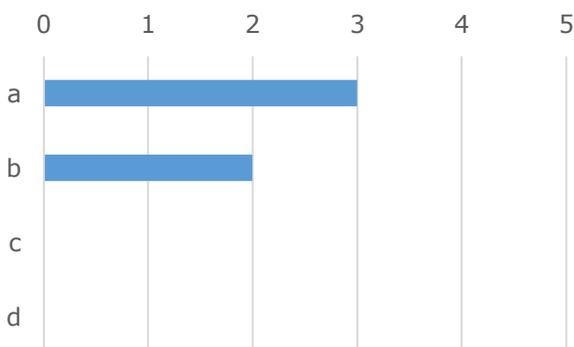
内容



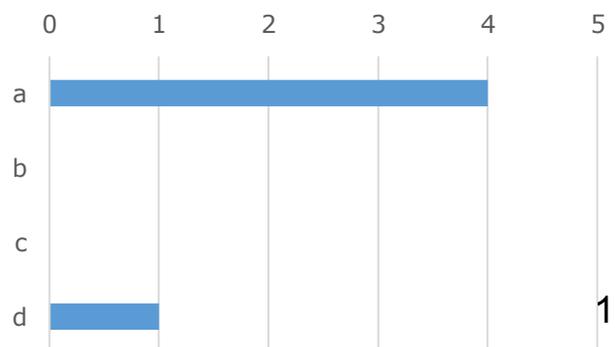
表現の適切さ



わかりやすさ



正確さ

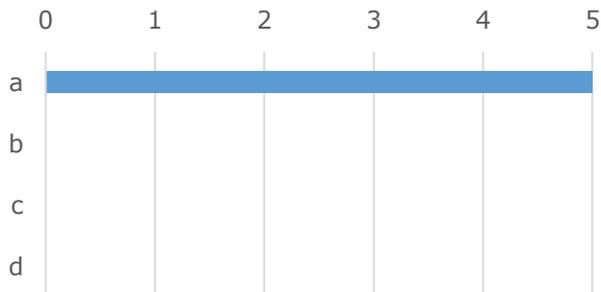


e-learningテスト

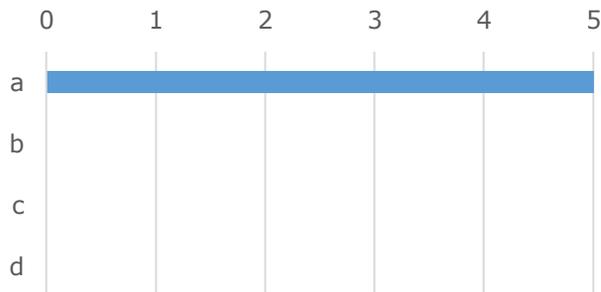
9. がん経験者としての心構え

- a : 適切である
- b : 一部修正が望ましい
- c : 大幅な改訂が望ましい
- d : 判断できない

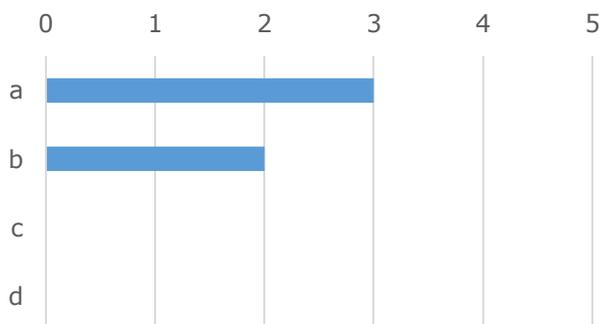
内容



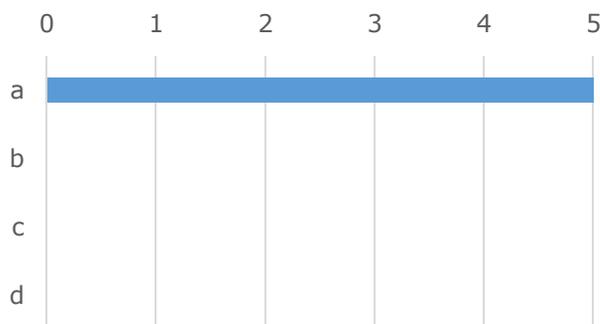
表現の適切さ



わかりやすさ

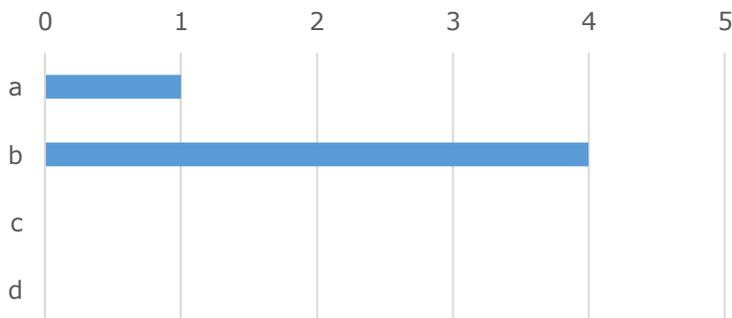


正確さ



e-learningテスト 総合評価

内容



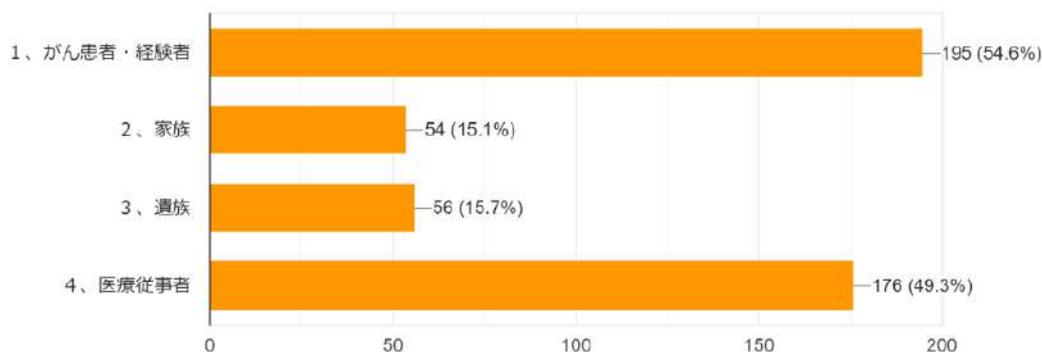
がん教育外部講師のためのeラーニングについてアンケート結果

2021年4月17日～4月30日まで、「がん教育外部講師のためのeラーニング」受講を修了した対象者にWEBによるアンケート調査を実施し、対象839名のうち357名から回答を得た。

1. お立場について（複数回答可）：

1. お立場について（複数回答可）

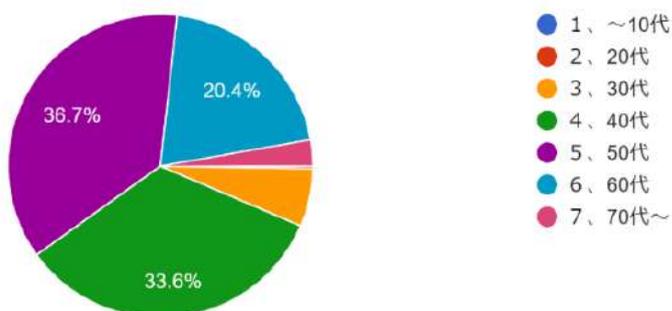
357件の回答



2. 年代について：

2. 年代について：

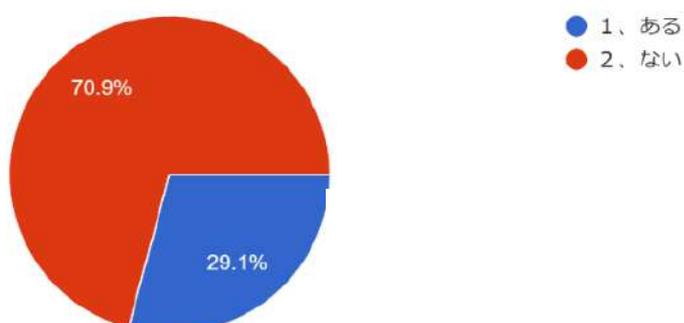
357件の回答



3. がん教育の経験について：

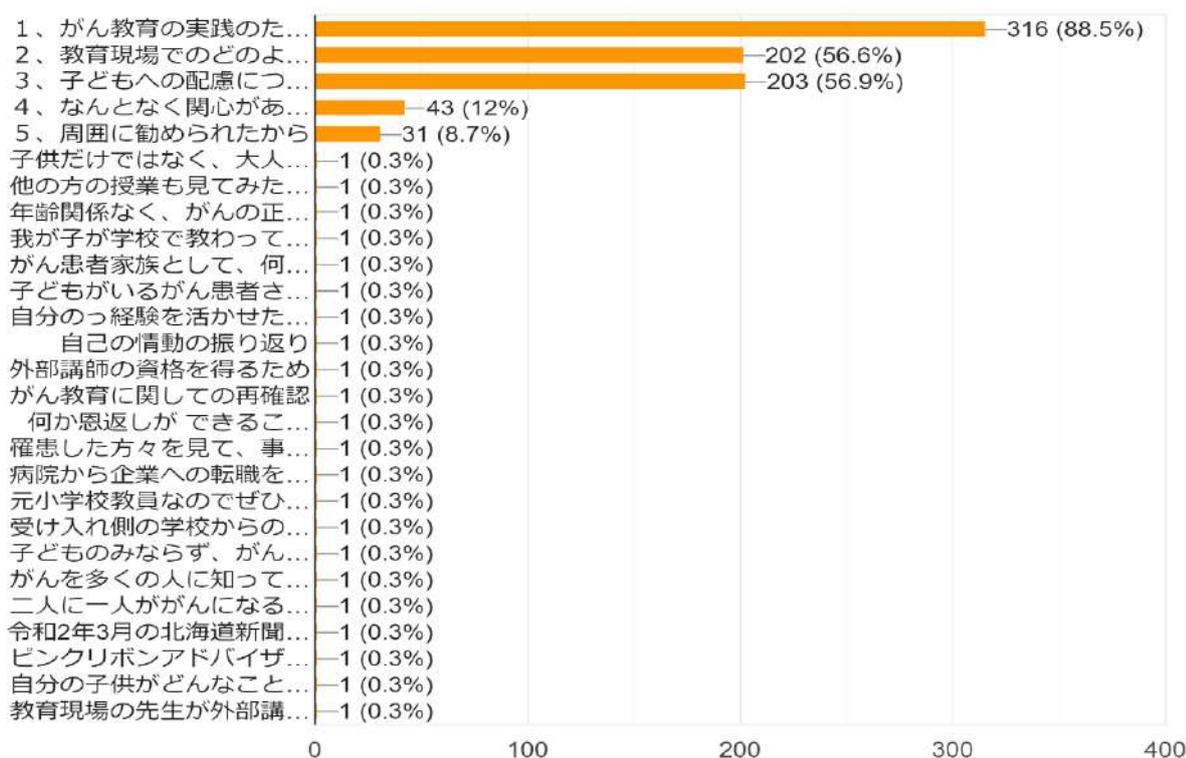
3. がん教育の経験について：

357件の回答



4. eラーニングを受講した動機について（複数回答可）：

357件の回答



【選択肢】

- 1、がん教育の実践のために知識を得たいと思ったから
 - 2、教育現場でのどのように対応すればよいかを学びたかったから
 - 3、子どもへの配慮について学びたかったから
 - 4、なんとなく関心があったから
 - 5、周囲に勧められたから
- その他

eラーニングを受講した動機について ～その他の回答～

- がん患者家族として、何かできることがあればと思いました。
- ピンクリボンアドバイザーがん教育講師の認定をとり、先輩の授業のアシスタントに入ったことはありますが、まだ自分では講師として自信がないので学びたいと思った
- 我が子が学校で教わってきたがん教育に疑問を抱いたから。
- 受け入れ側の学校からの信頼を得るため
- 他の方の授業も見てみたいとも思ったので。
- 子供だけではなく、大人の方々にもがんという病気を正しく理解してもらいたいと思っているため。
- 年齢関係なく、がんの正しい知識を知ってほしいと感じていた為
- 令和2年3月の北海道新聞をみて
- 教育現場の先生が外部講師に何を求めているのか知りたかった。
- 自己の情動の振り返り
- 元小学校教員なのでぜひ学びたいと思った
- 子どもがいるがん患者さんの面談をしており、関心があったから
- 二人に一人ががんになる時代、多くの人にがんについて知ってほしいから
- 病院から企業への転職を経験し、一般の方のがんの理解の必要性や医療者が一般の方の生活に立っ

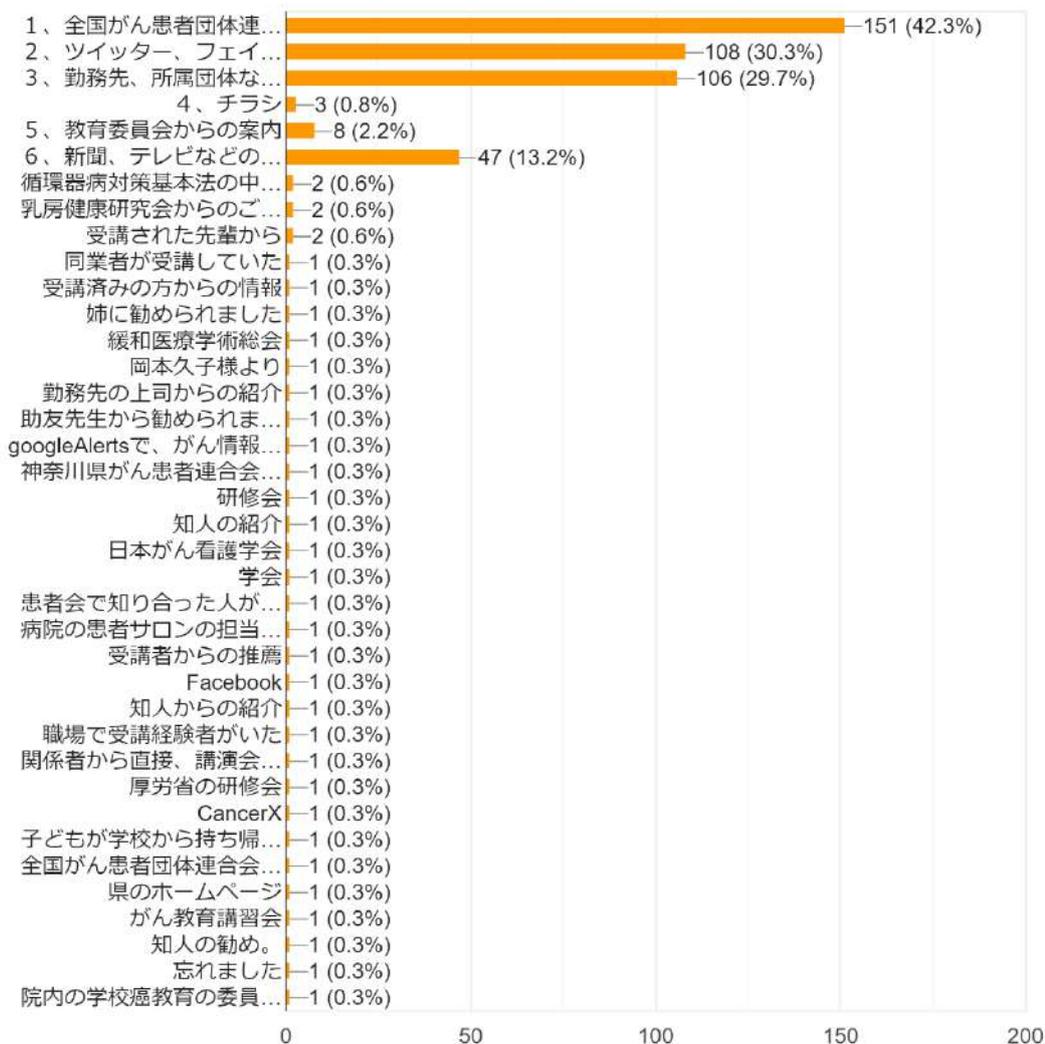
てがん治療を伝える必要性を感じたため

- 外部講師の資格を得るため
- 自分の子供がどんなことを学ぶのか気になったから。
- 子どものみならず、がん患者さんと接するときの注意点を学びたかったから。
- 自分の経験を活かせたらと思ったので
- がん教育に関しての再確認
- がんを多くの人に知ってもらいたかったから
- 何か恩返しができることがあれば良かったと思った
- 罹患した方々を見て、事前のがん教育が必要だと思ったから

5. このeラーニングを知ったきっかけについて（複数回答可）

5. このeラーニングを知ったきっかけについて（複数回答可）

357件の回答



【選択肢】

- 1、全国がん患者団体連合会のホームページ
 - 2、ツイッター、フェイスブックなどのSNS
 - 3、勤務先、所属団体などからの情報提供
 - 4、チラシ
 - 5、教育委員会からの案内
 - 6、新聞、テレビなどのニュース
- その他

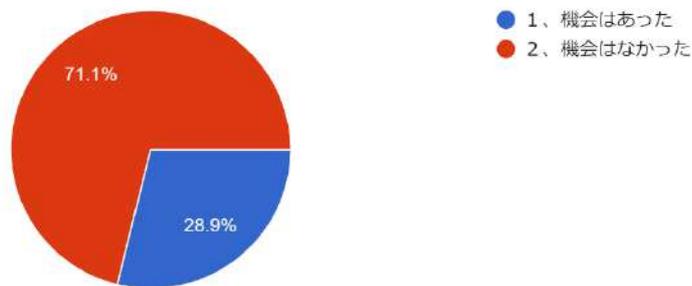
e-ラーニングを知ったきっかけについて ～その他の回答～

- CancerX
- 関係者から直接、講演会での紹介、学会での紹介
- 県のホームページ
- 受講済みの方からの情報
- 循環器病対策基本法の中での教育との関連
- googleAlerts で、がん情報を登録して読んでいます。その中に紹介記事があって知りました。
- がん教育講習会
- 院内の学校癌教育の委員会にて提示された
- 学会
- 患者会で知り合った人が受講していてすすめられた
- 緩和医療学術総会
- 勤務先の上司からの紹介
- 研修会
- 厚労省の研修会
- 姉に勧められました
- 子どもが学校から持ち帰ったチラシ
- 受講された先輩から
- 受講者からの推薦
- 職場で受講経験者がいた
- 神奈川県がん患者連合会よりお知らせ
- 全国がん患者団体連合会の会員から教えていただいた
- 知人の勧め。
- 知人の紹介
- 同業者が受講していた
- 日本がん看護学会
- 乳房健康研究会からのご紹介とがん教育シンポジウムに参加して知りました。
- 病院の患者サロンの担当者様のおすすめ
- 忘れました

6. eラーニング受講前の外部講師として学ぶ機会について：

6. eラーニング受講前の外部講師として学ぶ機会について：

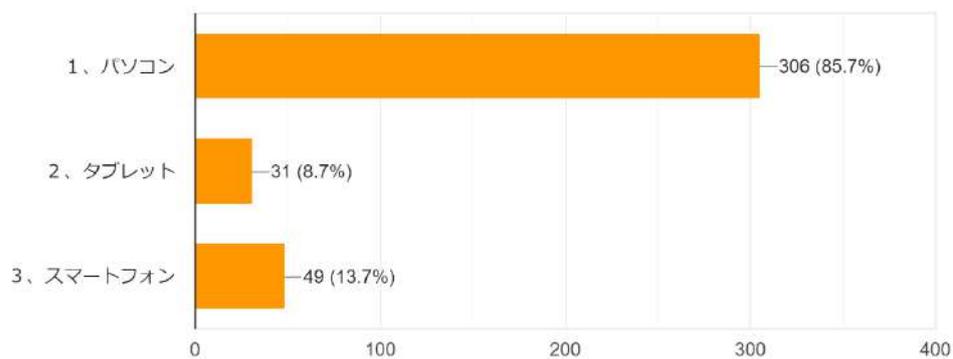
357件の回答



7. eラーニングを受講した端末について（複数回答可）

7. eラーニングを受講した端末について（複数回答可）

357件の回答

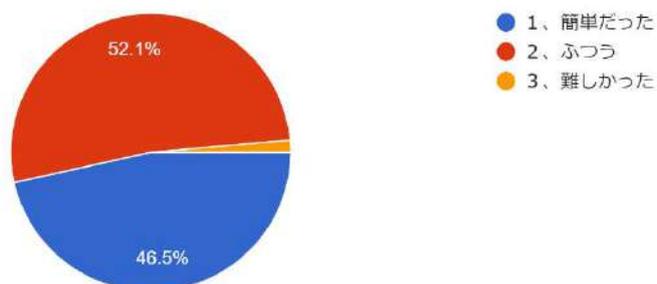


8. eラーニング受講システムについて

eラーニング受講システムについてについてお答えください。

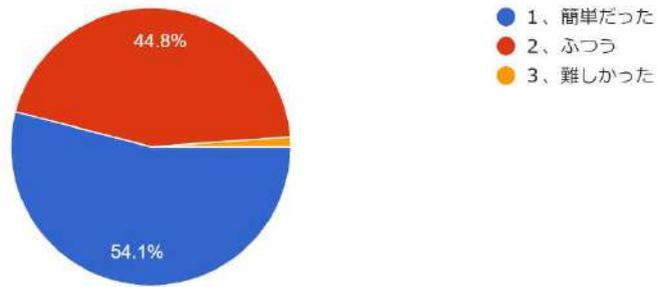
(1)ユーザー登録手順

357件の回答



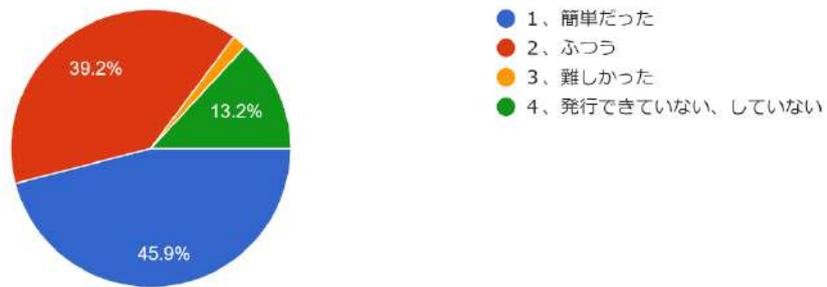
(2) 受講する操作

357 件の回答



(3) 修了証発行手続き

357 件の回答

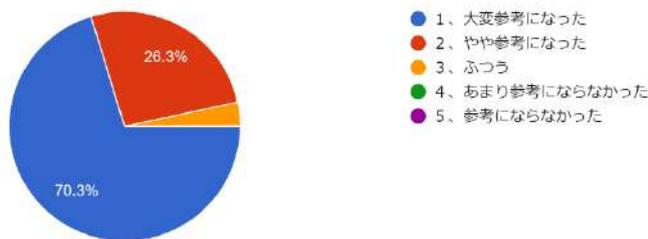


9. eラーニングの内容について：

(1) がん教育の概要（植田 誠治先生）の内容についてお答えください。

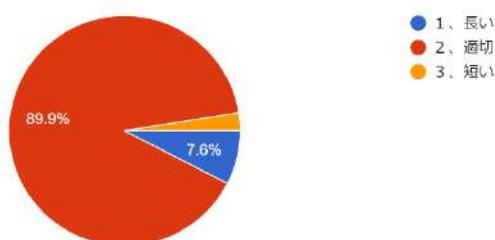
1) 講義内容

357 件の回答

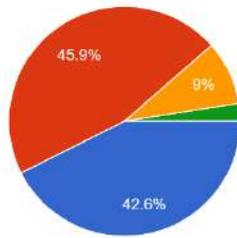


2) 講義時間

357 件の回答

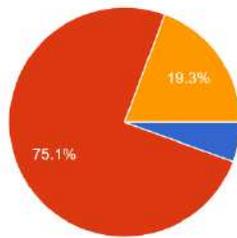


3) 講義のわかりやすさ
357 件の回答



- 1、大変わかりやすい
- 2、まあまあわかりやすい
- 3、ふつう
- 4、少しわかりにくい
- 5、とてもわかりにくい

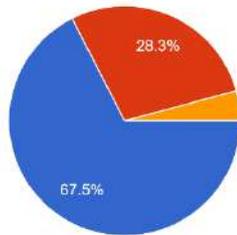
4) テストの難しさ
357 件の回答



- 1、簡単だった
- 2、ふつう
- 3、難しかった

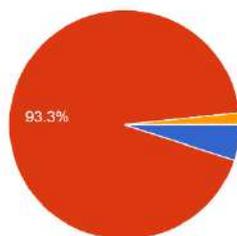
(2) 外部講師に求められるもの（助友 裕子先生）の内容についてお答えください。

1) 講義内容
357 件の回答



- 1、大変参考になった
- 2、やや参考になった
- 3、ふつう
- 4、あまり参考にならなかった
- 5、参考にならなかった

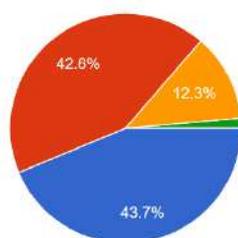
2) 講義時間
357 件の回答



- 1、長い
- 2、適切
- 3、短い

3) 講義のわかりやすさ

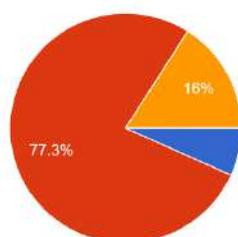
357 件の回答



- 1、大変わかりやすい
- 2、まあまあわかりやすい
- 3、ふつう
- 4、少しわかりにくい
- 5、とてもわかりにくい

4) テストの難しさ

357 件の回答

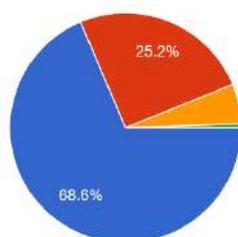


- 1、簡単だった
- 2、ふつう
- 3、難しかった

(3) 子どもたちに知っておいてほしいがんの知識① (若尾 文彦先生) の内容についてお答えください。

1) 講義内容

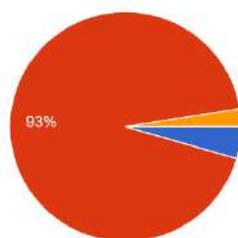
357 件の回答



- 1、大変参考になった
- 2、やや参考になった
- 3、ふつう
- 4、あまり参考にならなかった
- 5、参考にならなかった

2) 講義時間

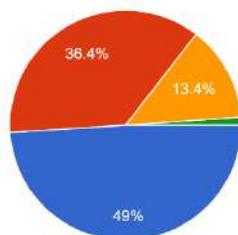
357 件の回答



- 1、長い
- 2、適切
- 3、短い

3) 講義のわかりやすさ

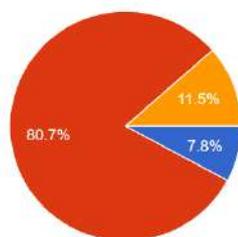
357 件の回答



- 1、大変わかりやすい
- 2、まあまあわかりやすい
- 3、ふつう
- 4、少しわかりにくい
- 5、とてもわかりにくい

4) テストの難しさ

357 件の回答

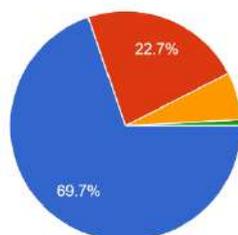


- 1、簡単だった
- 2、ふつう
- 3、難しかった

(4) 子どもたちに知っておいてほしいがんの知識② (若尾 文彦先生) の内容についてお答えください。

1) 講義内容

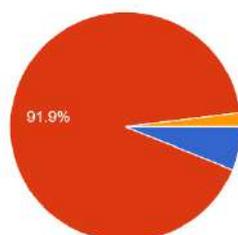
357 件の回答



- 1、大変参考になった
- 2、やや参考になった
- 3、ふつう
- 4、あまり参考にならなかった
- 5、参考にならなかった

2) 講義時間

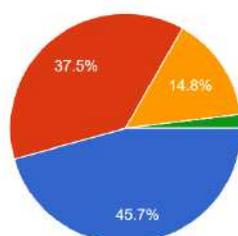
357 件の回答



- 1、長い
- 2、適切
- 3、短い

3) 講義のわかりやすさ

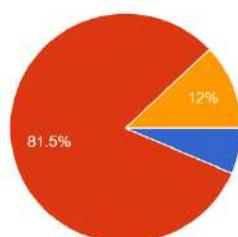
357 件の回答



- 1、大変わかりやすい
- 2、まあまあわかりやすい
- 3、ふつう
- 4、少しわかりにくい
- 5、とてもわかりにくい

4) テストの難しさ

357 件の回答

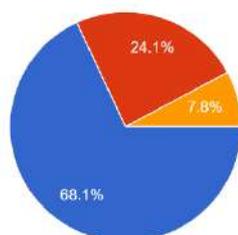


- 1、簡単だった
- 2、ふつう
- 3、難しかった

(5) 授業実施における具体的な心構え (石井 健一先生) の内容についてお答えください。

1) 講義内容

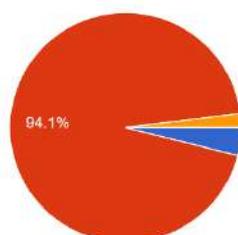
357 件の回答



- 1、大変参考になった
- 2、やや参考になった
- 3、ふつう
- 4、あまり参考にならなかった
- 5、参考にならなかった

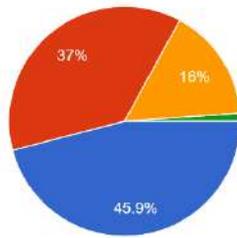
2) 講義時間

357 件の回答



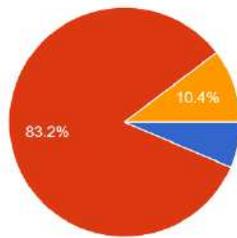
- 1、長い
- 2、適切
- 3、短い

3) 講義のわかりやすさ
357 件の回答



- 1、大変わかりやすい
- 2、まあまあわかりやすい
- 3、ふつう
- 4、少しわかりにくい
- 5、とてもわかりにくい

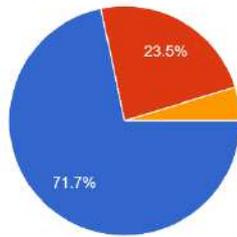
4) テストの難しさ
357 件の回答



- 1、簡単だった
- 2、ふつう
- 3、難しかった

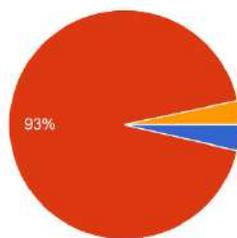
(6) 子どもへの配慮事項と対応について (副島 賢和先生) の内容についてお答えください。

1) 講義内容
357 件の回答



- 1、大変参考になった
- 2、やや参考になった
- 3、ふつう
- 4、あまり参考にならなかった
- 5、参考にならなかった

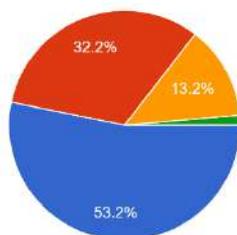
2) 講義時間
357 件の回答



- 1、長い
- 2、適切
- 3、短い

3) 講義のわかりやすさ

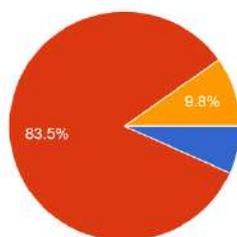
357 件の回答



- 1、大変わかりやすい
- 2、まあまあわかりやすい
- 3、ふつう
- 4、少しわかりにくい
- 5、とてもわかりにくい

4) テストの難しさ

357 件の回答

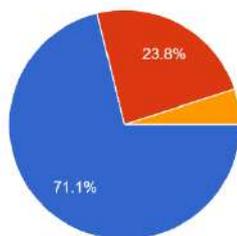


- 1、簡単だった
- 2、ふつう
- 3、難しかった

(7) 病と過ごす子どもたちについて (副島 賢和先生) の内容についてお答えください。

1) 講義内容

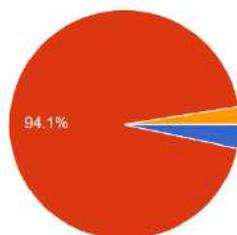
357 件の回答



- 1、大変参考になった
- 2、やや参考になった
- 3、ふつう
- 4、あまり参考にならなかった
- 5、参考にならなかった

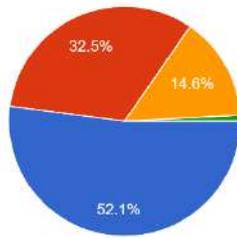
2) 講義時間

357 件の回答



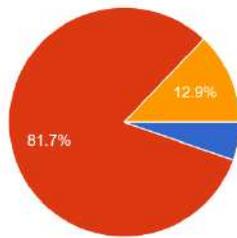
- 1、長い
- 2、適切
- 3、短い

3) 講義のわかりやすさ
357 件の回答



- 1、大変わかりやすい
- 2、まあまあわかりやすい
- 3、ふつう
- 4、少しわかりにくい
- 5、とてもわかりにくい

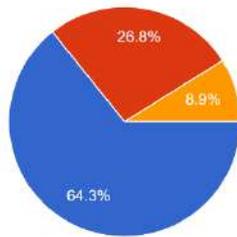
4) テストの難しさ
279 件の回答



- 1、簡単だった
- 2、ふつう
- 3、難しかった

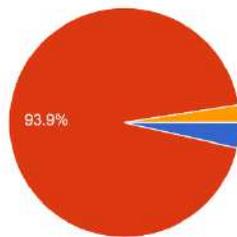
(8)医療者としての心構え（林 和彦先生）の内容についてお答えください。
※医療従事者のみお答えください

1) 講義内容
280 件の回答



- 1、大変参考になった
- 2、やや参考になった
- 3、ふつう
- 4、あまり参考にならなかった
- 5、参考にならなかった

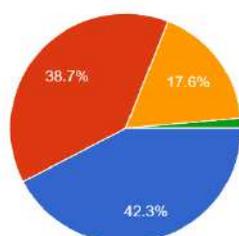
2) 講義時間
280 件の回答



- 1、長い
- 2、適切
- 3、短い

3) 講義のわかりやすさ

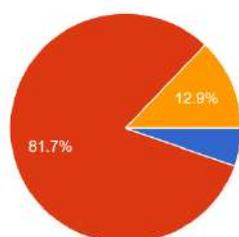
279 件の回答



- 1、大変わかりやすい
- 2、まあまあわかりやすい
- 3、ふつう
- 4、少しわかりにくい
- 5、とてもわかりにくい

4) テストの難しさ

279 件の回答

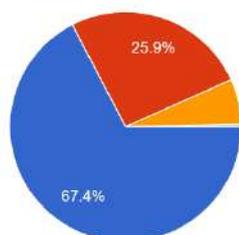


- 1、簡単だった
- 2、ふつう
- 3、難しかった

(9)がん経験者としての心構え (三好 綾) の内容についてお答えください。※がん経験者・家族のみお答えください

1) 講義内容

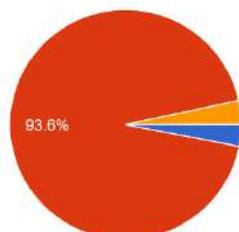
328 件の回答



- 1、大変参考になった
- 2、やや参考になった
- 3、ふつう
- 4、あまり参考にならなかった
- 5、参考にならなかった

2) 講義時間

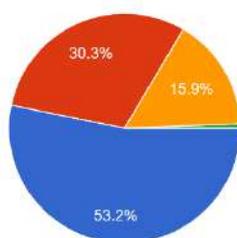
327 件の回答



- 1、長い
- 2、適切
- 3、短い

3) 講義のわかりやすさ

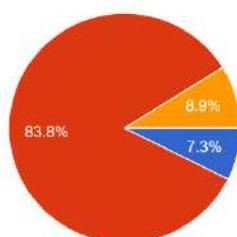
327 件の回答



- 1、大変わかりやすい
- 2、まあまあわかりやすい
- 3、ふつう
- 4、少しわかりにくい
- 5、とてもわかりにくい

4) テストの難しさ

327 件の回答

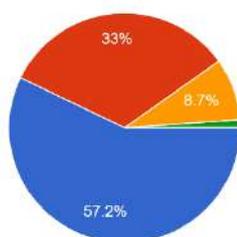


- 1、簡単だった
- 2、ふつう
- 3、難しかった

(10) 「がん教育」各地の取り組み (松本 陽子) の内容についてお答えください。

1) 講義内容

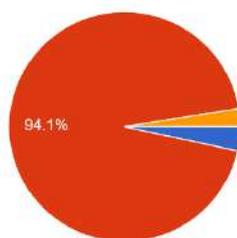
355 件の回答



- 1、大変参考になった
- 2、やや参考になった
- 3、ふつう
- 4、あまり参考にならなかった
- 5、参考にならなかった

2) 講義時間

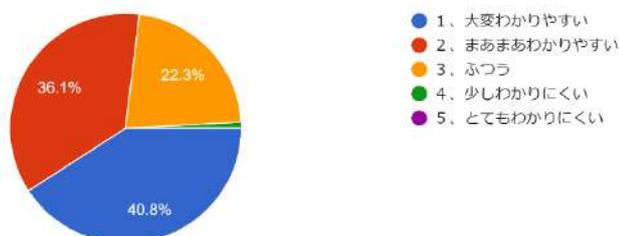
354 件の回答



- 1、長い
- 2、適切
- 3、短い

3) 講義のわかりやすさ

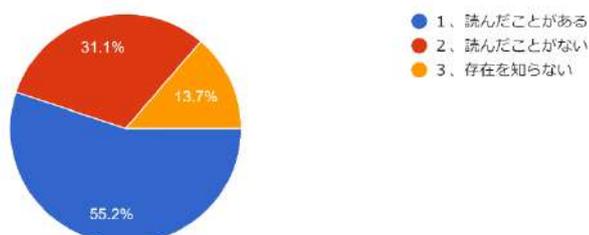
355 件の回答



10. 全国がん患者団体連合会は「がん教育における配慮事項ガイドライン」を発行しています。ガイドラインについてお聴かせください。

10. 全国がん患者団体連合会は「がん教育におけ...ます。ガイドラインについてお聴かせください。

357 件の回答



11. そのほか、eラーニングを受講してよかった点や役に立った点、改善点など、お気づきの点があれば自由にお書きください

- 若い子どもがいるがん患者さんからの相談にとっても役に立ちました。
- また定期的に勉強会を開催していただきたいです
- 家族として医療者として、癌にまつわる人への寄り添い方について考えることができた。
- がん教育に興味があり、何かを始めるきっかけになりました。オンラインの講座がありがたくて、よく理解できた
- 子ども達に対する配慮の知識が深まったと思う。またがん教育に携わる方々のお話しが聞けて良かったと思う。
- テストは難しいけれど、子どもたちのために必要と考えます。外部講師には覚悟が必要だと思っから。
- 講義だけでなくワークもありとても勉強になりました。
- 今はまだ講義するかどうかわかりませんが、機会があればする方向で考えたいと思っています。実際の講義の様子を見られると参考になると思いました。
- 日常の医療業務では学べない知識を得ることができ、現場で家族の対応時に役立つことがある。実際の教育現場では、実践することが出来ていないので残念である。
- 既に知っている事が多かったが、忘れていた部分もあり再確認が出来ました。全体的に簡単であり、

形式めいた感を受けました。だから、特に講師初心者に対する心構えとか禁句など詳しく学べる講座があってほしいです。eラーニングの存在を、担当の教育委員会の方が知らなかった。全国の、がん教育担当者(教育委員会など)へのPRを強化すればと感じます。

- がん経験者として、皆にこの経験を伝える重要性を再認識した。再認識した。
- 教育上で配慮すべきことが分かった
- 癌に関する知識について再認識できた大変良い機会だった。
- がんで治療中でも安心できる社会であることを伝えていきたい。医療者やコメディカルが患者のQOLを重視して関わっているということを講義に組み込むと良いと思った。
- 最初にテストの答え方で下にスクロールすることに気がつかなかった。
- 時間がある時に学べるので良い取り組みだと思います。
- 大変勉強になりました。現場の先生の講義で使われたピラミッド図のデータ資料ですが、関心があり調べました。私の調べ方がまずいのか、データソルビである気がします。もしそうなら修正が必要かと感じますがいかがでしょうか。
- 大変内容の濃い口座を受講させて戴きまして、感謝申し上げます。外部講師として少しでお役に立ちたいとの考えでございます。①外部講師によるがん教育につきましての、北海道教育委員会にお考えをお聞きしましたが、全く予定はないとお応えでした。今後どのようにお考えなのかをお聞きしたいと存じます。②eラーニング受講者で、教育委員会への協力を致したい方々との、意見交換などのシステムを希望いたしております。 連合会様でご検討をお願い申し上げます。
- 大変勉強になりました。実際どのように実践の機会を得られるのかも、レクチャーがあるとありがたいと思いました。
- 画面上で聴講と資料の参照が同時に出来たらいいと思いました。
- がん教育を行う際には、今回の受講内容が目安となり、自信にもなると思う
- 先生方の話がとてもためになりました。素晴らしいプログラムだと思います。ガンサバイバーの方や関係者と繋がるきっかけになった。
- このアンケートに意義を見いだせ無い。理由は細かい受講から時間が経っており、講義がどのようなものか覚えていない。このアンケート
- スライドのみ映っている時間が長く、ラジオを聞いているような気がした講義がたくさんありました。テキスト(スライド)は手元にプリントアウトして用意しますので、できれば講師の先生のお顔を見せていただいた方が、受講している気分が出ていいと思いました。また、せっかく受講しても、だからと言ってそれが現場に出るための足がかりになっていない気がします。だって、終わったけれど、登録されたけれど、どこからもなんのお声もかからないからです。まだ、スピーカー育成の制度は育ておらず、研修などを行っている場があったとしても、それが教育現場とつながるためのパイプができていない現況において、この講座を修了した人たちが次のステップに行くためのヒント、足がかりがあればなおいいのに、と思っております。早くがん教育の一端に与したいと、切望する者として申し上げさせていただきました。
- お金を払ってもかまいませんので、受講修了証のようなものを頂きたいです。
- 自分自身の経験が、無駄なものではなく、もしかしたら、お役に立てる機会が訪れるかもしれない、と思えて、少し、前向きになることができました。
- 子供達への配慮や、学校とのやり取りの仕方を知れて良かった。患者つながりのSNSで受講報告したら、「私も受講してみたい」と興味を持ってくれた方が多くて嬉しかった。
- もっと医療機関にPRしてほしい。

- 子どもへの配慮が一番重要なことだと再認識出来た
- 教育現場の事は全く知らないので参考になった。
- 修了証は自分で印刷すれば良いのでしょうか？また、ホームページの登録者名の更新が止まっているのが残念です。お役に立てればと前向きな気持ちで受講しましたが、なかなか実践に結びつかない現状ですね。このコロナ禍を過ごすという経験も踏まえて、生きていくこと、命の大切さを伝えていけたらと思っています。
- 配慮が理解できた。外部講師の共通理解の必要を感じた
- 敷居が低く割と受講しやすくてよいと思います
- アンケートは直後にお願いします。すでに感想はほぼ忘れていています。申し訳ありません。
- 特に無し
- がん教育の具体的な様子（動画）などがあれば勉強してみたい。
- 繰り返し学習できるところが良かった
- 修了後も復習のため聴講できるようにしてほしい。
- がん教育の重要性をより理解できた。まだ経験はないが、必ず教壇に立ち、子ども達に伝えていきたいと思えた。
- 意地悪問題のようなテストの意図がわからない。
- 受講を受けて大変参考になったが、実際の現場では様々なイレギュラーなケースもう出てくる
- e-Learning で得た知識をいかに自分の言葉で児童や生徒に理解できるように伝えるか、そして癌経験者としての自分自身からのメッセージを児童や生徒の心に伝えることが癌教育の意義だと私は考えています。今後もその基本的スタンスでこの取り組みを継続して参ります。
- 活用する機会が中々ない
- がん教育の方針や配慮について学べることができよかった
終了後、近くの先輩講師の授業を参観したり、指導して貰えるようマッチングして貰えるとありがたいです。地域によって、伝え方も変える必要があると感じています。
- 終了後に自分の住居地域で講師をしている方の授業を見学したり、指導してもらえるようマッチングして頂けるとありがたいです。地域によって、授業の内容も若干異なるように感じています。
- とても良い内容だったと感じました。ただ、他の患者仲間を受けてもらいましたが、結構難しく感じていると思いました。外部講師として頑張ろうと思う前に、気持ちが折れてしまう人も多いのでは？と感じました。私も間違えたところも何か所かありました。このeラーニングが、各都道府県の教育庁、各市町村の教育委員会が把握し、認知し活用してほしいと思いますが、恐らく知らないところが多いのではないかと感じます。実際、私もがん教育に係る連絡協議会の委員を委嘱されていますが、教育庁から何も情報提供はありませんでした。ここまできちんとしたものがあるなら、全国的に外部講師の必須として位置付けて頂いた方がよいように思いますが、実際必要なのはそれだけではない、人柄や話し方等難しいところもあるのかなとも思います。正直、少し患者体験者にはハードルが高いと感じるかも知れません。主体は学校にあると思いますので、担当の先生とよく相談して組み立てることが第一だと感じました。私は個人的には、とても役に立ちました。ありがとうございました。
- 医療従事者ですが事務職のため、がん患者家族として受講しました。そのため、アンケートは回答していません。大変勉強になりました。フォローアップなどあれば、参加したいです。ありがとうございました。
- コロナ禍で実践の機会がまだありません。

- がん医療ネットワークナビゲーターの資格を持っていますが、実働ができておらず学んだ事の再確認と新たな活動の場を考えての受講でした。これまでの経験を活かすことができればと思います。
- 継続してeラーニングを受けられるといいなと思いました。
- 知識の構造を図り、どのように伝えていけばよいのかとても勉強になった。学校などで実際話をしてみたい。
- 今現在どんなことが求められているのか、子供達が今どんなことを知っていて、どんなことに配慮が必要なのか、よく知ることができて大変学びになりました。ありがとうございます。継続した学びもしていきたいです
- 教育委員会での活用がされるといいですね。
- 特になし
- 受講した後、実際の授業を見る機会があればよいと思いました。受講した人が交流できる学習会などが有れば案内が届くとか、今後につながる機会が欲しいなあとと思います。
- 先生方の話がとてもためになりました。素晴らしいプログラムだと思います。
- 様々な分野の先生方の講義を聞くことができ大変参考になりました。
- 選択肢をいくつ選ぶのかを記載してあるとよりわかりやすく丁寧だったように思いました。
- 子供たちへ配慮が必要なのかわかりました。また事前に何を準備すれば良いかもわかりました
- まだ実践には至りませんので回答を保留します。
- eラーニング受講後の講習会がすぐに定員に達してしまうので定員を増やしてほしい。
- 自分の伝えたい思いだけでなく、学校関係者との連携、子供達への配慮など考えていかななくてはならないことが、学べてよかったです。学校薬剤師としても、学校に関わっているので、微力ながらも役にたてることがあればと思って受講しました。
- とても良い機会でした。自宅で学べるのがありがたいです。患者会で模擬授業を見ていただき、準備もほぼ整ったのですが、実際に出前授業をやる機会がまだなく…我が子の学校には伝えてあるのですが、そこから、どのように進めたらよいのか、考えてしまいます。
- 今の学習指導要領の説明などもあったが「なぜ、指導要領が変更されたのか」その目的なども説明に入れた方が、手を組んで授業を担当する教師の考えを理解する助けになります。
- わかりやすいご講義、ありがとうございました。実際のがん教育に携わるためには、まだまだ勉強が必要だと感じています。講義数をもっと増やして頂けると有難いです。
- 全体としての目指す方向性が知れたのは良かったかなと思います。現場では、話す内容が同じではないので、外部講師や学校の先生の力量によるところが大きいかなと思います。経験者であれば、癌になった子や、癌の親を持つ子への配慮が大切なことは良くわかっているかなと思いますが、学校の先生かたの理解がどこまで進んでいるのかは、私自身も経験して初めて分かる繊細な部分でしたので、気になるところです。(実際、私自身は子供の希望もあり、学校の先生には癌であることをお話していないので、ふとした発言で我が子が傷つくのでは?という不安は拭えないです。
- 授業内容の質を向上させるためにもこういったカリキュラムがある方がいいと思います。
- がん教育について系統的に学べた。
- たいへん勉強になりました。
- スキルアップの講座、まだがん教育の実践が出来ていない方々へモチベーションの低下につながる講座なども希望します。また、実践の授業展開を見学する事でイメージ化出来るのではないかと思います。
- がん教育は難しい点も多いと思うが、ほんの少しの知識でも持っていれば恐れることなく治療でき

と思います。検診の大切さも知ってほしい。癌経験者だからできる話でもあると思う。

- がんに関する知識は持ち合わせているつもりだったが、教育に関する知識はほぼ初めて学ぶ機会となり、がん教育の重要性や大切なポイントについて理解を深めることができました。
- 引っ掛け問題のようなテストはどんなものかと思う。大切な知識を得ることができた受講者が全員合格できるようにしてほしい。
- 自宅で深い学びを受けられ、本当にありがとうございました。医療者として、また、援助者として実践していることが、当事者やご家族にどのように伝わるかを改めて、気づくことができました。今後も、より学びを深めて行きたいと思います。
- とても勉強になりました。学校で、講演チャンスがあれば、チャレンジしたいと考えております。別件ですが、3月末まで、埼玉県在住ため、埼玉で登録しておりました。今月より、大阪府の自宅に戻りましたので、大阪府登録に変更ができれば希望します。
- もっと要点をまとめて受講しやすくした方が良いと感じた。
- 今の受講者はどれくらいなのでしょう。当初は関心のある人がどんどん受講されたようですが、今は一段落しているのかも。多くの人に興味を持ってもらえる新しいアナウンスが必要かとも思います。
- 最初の頃回答に誤りがあったところが未だにどちらだったか？と迷う事があります。何度もやり直しをしたのでわからなくなってしまいましたので誤解を出来るだけなくしてほしいです
- 教育現場での現状や求められていることがわかり勉強になった。研修を受講してから時間が経過してしまし、アンケートを回答するのに悩む部分が多かったです
- そうなんだ！と感じる事がたくさんあり空いてる時間に受講できる事が良かったです。
- 自分の想いを伝えたいと思って話をしていたが、聴いてくれる人の立場に立って話すことが大切だと感じた
- 受講で参考になった事項：政府・文科省取り組み方及び、今後のスケジュールです。3年前から病院などでボランティア活動（今はコロナ禍で休止中）をしております。もし、近隣の学校で出前授業などをすると、再度eラーニングが必要かなと思っております。
- eラーニングを受講したのがかなり前であるため、このタイミングで講師の感想や講義の感想を求められてもはっきりと覚えていない。もし、このようなアンケートをとるなら受講直後が適しているのではないかと思う。
- 受講したあとに現時点では活用する場がないです。忘れないように各テーマごとにフォローアップ講座などあるとよいかと思いました。
- ただがんに対しての知識があればいいというわけではなく、様々な配慮事項があること、簡単に教育を考えるとはいけないことを学ばせて頂きました。実際の教育場面を拝見したことがないので、できれば授業内容を垣間見るとさらにわかりやすいかと思いました。
- 学校教育の中でのがん教育の在り方や立ち位置、お子さんとのかかわりや教職員との連携についてとても理解できました。まだ現場からはお声がかからないので、お役に立てる日が待ち遠しいです。
- 一年以上前の受講だったので、アンケートの回答が正確なものかやや不安です。また繰り返し勉強しなければ忘れてしまうと思っています。実践があれば良いのですが、関わりたいけど関わられませんね。道作りから致します。
- がんの知識それ自体とそれをどう伝えるかは別ものであると感じました。受講してそれが実感できたので勉強になりました。
- 分かっていると思っていた知識も再確認でき、受講して良かったです。外部講師の機会があったら学

習の成果を生かし、創意工夫して、学校との連携をもってがん教育に貢献したいと思います。

- 講義に出てくる文言とテストに出題される文言が微妙に違う問題があり戸惑いました。
- がん教育外部講師のためのeラーニングを受講しており、「がん教育の概要：植田誠治先生」を拝見しました。そこでは、がんになる原因として生活習慣ということが繰り返し言われています。そのほかに細菌やウイルスも原因になることや、先天性のものもあることは後ろの方で少し触れていますが、このままでは、あたかも生活習慣がよくなかったからがんになった、というような印象を見る者に受けさせる内容なので、修正する必要があると思います。がんは、原因が分からないもの、遺伝性のも、先天性のもの、加齢によるもの（長く生きれば生きるほど細胞分裂の回数は多くなるので、その過程で異常な分裂が起きる）など、個人の行動や努力では防ぐことができないものも沢山あります。このままでは、がん患者に対する偏見がさらに増すことになってしまうと思います。どうぞご検討の程、よろしくお願いします。
- 知識を得ることができてよかった。がんの啓発などはこれまでもしてきましたが、これからも活用していきたい。そして私自身、地方に住んでいることもあり、セミナーの受講やがんに関しての資格を取ることができなかったため、このような場を設けていただいたことに、本当に感謝しています。
- 一年以上前の受講だったので、アンケートの回答が正確なものかやや不安です。また繰り返し勉強しなければ忘れてしまうと思っています。実践があれば良いのですが、関わりたいけど関わられませんね。道作りから致します。
- 大変勉強になりました。終了証発行手続きをすることを忘れて、不完全燃焼しています。
- 学ぶ貴重な機会をありがとうございます。
- 学んだことを活かして地域へ還元して行きたいと思っています
- これは外してはいけない事項、ここは気をつけなければならない事項、などのポイントや、そもそものがん教育の意義について復習することができたことが良かったです。
- 色々とがんについての話しをする機会では、eラーニングを受け基本的な事も教育を受けている事は、インパクトがあり、安心感にも繋がっていると感じました。有難う御座いました。
- 自分がつたえたいことと子供達に伝える必要があることを理解することができました。仕事柄講師を務める事もあります。あらためて気づきを得られたことに感謝しています。
- 受講後のテストで回答が間違っていた時、どの問題のどこを間違えたのかが分かりにくかったです。
- さまざまな観点から学ばせていただきとても参考になりました。ただ、このアンケートは受講直後にしてほしかったです。受講から4か月以上経ったので、内容をよく覚えていません。適切な評価になっていないように思います。
- 地元で講師の要請があっているのか？学校でどれだけがん教育が行われているのか？知りたいです。
- 子供の小学校入学と同じ月にがんの手術を受けました。子供が理解できるよう、怖がらないようにがんについて伝えるにはどうしたら良いかと迷いながら伝えていました。自分の体験や今回学習した事を通して、少しでも子供達にがんのことを伝えられると良いなあと思いました。
- 修了証の発行の仕方教えてください
- 単純に伝えるのではなく、こういった背景の子どもたちがいて、どこに配慮すべきか。大学で教育する立場だが、全く違う視点が必要だと、とても勉強になりました。
- 外部講師としてという以前に、自分が何を感じていたのか・家族の想いを感じてあげられていただろうか等、立ち止まってゆっくり・しっかり考える機会を与えていただけました。それと同時に、自分がどうしたいのかという夢を見つけることができました。ありがとうございました。
- 色々とがんについての話しをする機会では、eラーニングを受け基本的な事も教育を受けている事

は、インパクトがあり、安心感にも繋がっていると感じました。有難う御座いました。

- 修了証はどうすれば発行していただけるのでしょうか？
- ガンの知識が深まるとともに、人にどう伝えていくか、他人とどう共有していくかがわかり、大変参考になりました。今後も素晴らしい教材の提供をお願い致します。
- 先生方の講義ばかりでなく、どなたかのがん教育授業の実際の動画とかがあれば良いと思います。その後先生方の講評とかがあれば、より具体的にイメージができると思います。教育授業の実際の動画
- とても参考になりました。これからは子供達へのがん教育が重要となってきます。正しい知識を習得してもらい、がん患者や家族への関わりが良い方へ向かえるよう機会があれば参加したいと思いません。
- 登録し、受講が済んでいけば、その後もアクセス可能で、復習ができる点は便利で有用と思います。
- 最初、テストの受講の方法が判らず一問解答してしまい不合格となったりして慌てました。テスト方法の注意点など教えていただけたらよかったですと思います。(もしそのような指示があって見落としをしまっていたらすみません。友人も同じ事をしたようなので記入してしまいました。)
- 複数の方の多面的な視点からの講座が聞けてよかったです。ただすべての項目が OK にならないと次に進めないことにだいぶつまづきました。受講システムがわかるようになるのに時間がかかりました。
- このような試みをされて、大変感謝しています。
- 受講終了証が欲しかった、もっと情報が欲しい
- 受講後1年以上過ぎているので、記憶が曖昧なところもあり、回答に自信がありません。テストは引掛け問題のようなものも多かったと思います。参加者はみな友人でしたが、生涯学習の場で自分の経験を話す機会を頂いた時にとっても参考になりました。
- 様々な分野と立場の有識者(体験者)の方々が連携して「がん教育」に取り組んでいることで、「がんに対する理解」と「サポートする側の配慮」など、学ぶことが出来ました。
- 受講後のフォローアップとして、事例紹介などあれば大いに参考になります。
- がん患者の周りの人たちのことがよく分かって良かった。
- e ラーニング受講前から文科省の研修会やがん教育のデモストレーションなど経験しましたが、受講することでがん教育の全体像が理解できてとても参考になり良かったと思います。
- e ラーニングを受講するという目標に向かって、集中的に勉強する時間は、とても有意義でした。自分が得た事を少しでも子供達に伝えて行きたいと実感しました。わかりやすい講義、すぐにでも実践出来る内容にはとても有り難かったです。この様な機会を設けて頂き感謝しております。ありがとうございました。

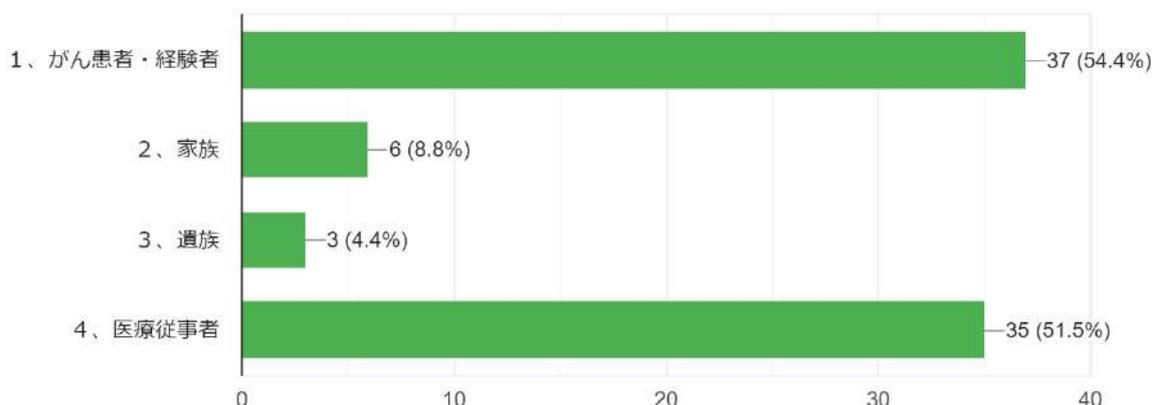
がん教育外部講師のためのeラーニングについてアンケート結果

2021年4月17日～4月30日まで、「がん教育外部講師のためのeラーニング」受講が途中である対象者にWEBによるアンケート調査を実施し、対象1,462名のうち68名から回答を得た。

1. お立場について（複数回答可）：

1. お立場について（複数回答可）

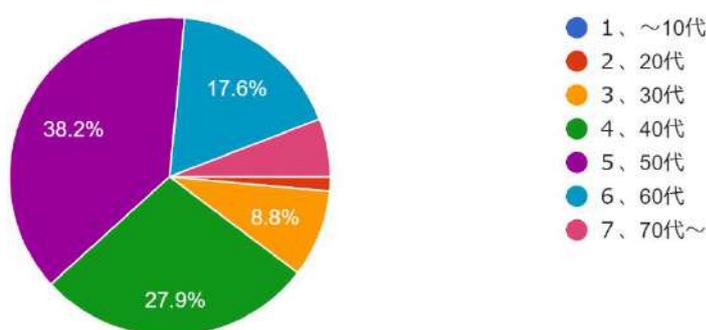
68件の回答



2. 年代について：

2. 年代について：

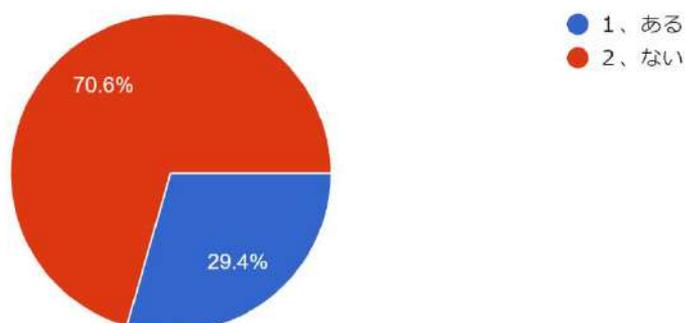
68件の回答



3. がん教育の経験について：

3. がん教育の経験について：

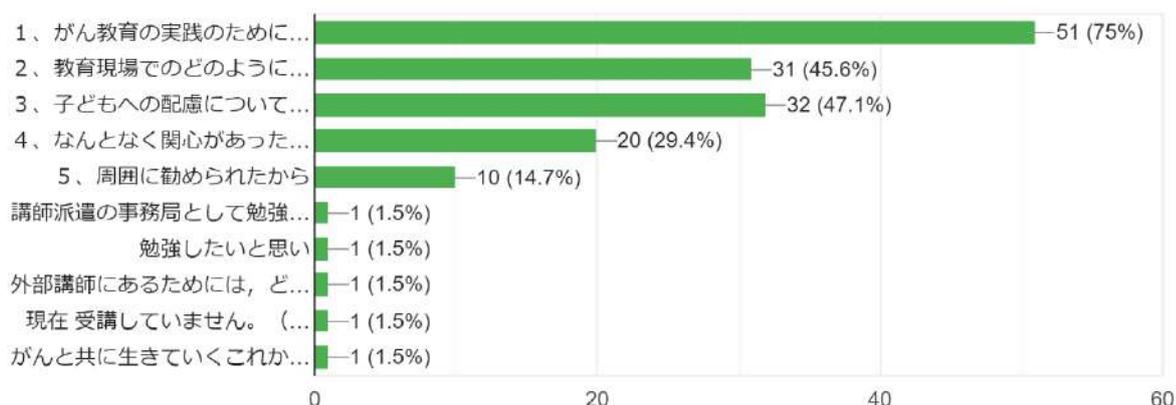
68 件の回答



4. eラーニングを受講した動機について（複数回答可）：

4. eラーニングを受講した動機について（複数回答可）：

68 件の回答



【選択肢】

- 1、がん教育の実践のために知識を得たいと思ったから
- 2、教育現場でのどのように対応すればよいかを学びたかったから
- 3、子どもへの配慮について学びたかったから
- 4、なんとなく関心があったから
- 5、周囲に勧められたから
- その他

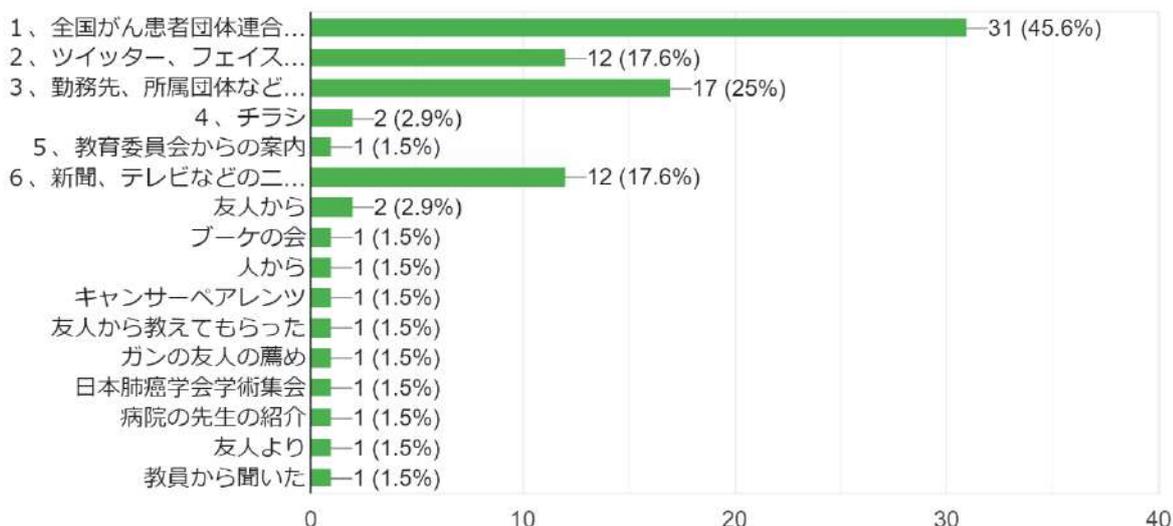
受講動機について～その他～

- 講師派遣の事務局として勉強の必要があったから。
- 勉強したいと思い
- 外部講師にあるためには、どんなことが必要であるのかを知りたかった。
- 現在 受講していません。(受講出来ませんでした)
- がんと共に生きていくこれからの時代の為に、次世代へ伝えたいと思ったからです。

5. このeラーニングを知ったきっかけについて（複数回答可）

5. このeラーニングを知ったきっかけについて（複数回答可）

68件の回答



【選択肢】

- 1、全国がん患者団体連合会のホームページ
- 2、ツイッター、フェイスブックなどのSNS
- 3、勤務先、所属団体などからの情報提供
- 4、チラシ
- 5、教育委員会からの案内
- 6、新聞、テレビなどのニュース
- その他

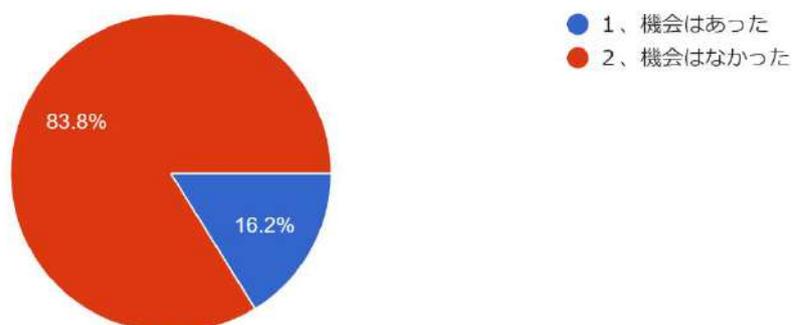
知ったきっかけについて～その他～

- 教員から聞いた
- 病院の先生の紹介
- 友人から
- 人から
- がんの友人の薦め
- 日本肺癌学会学術集会
- 友人から
- 友人から教えてもらった
- 友人より
- がんサーペアレンツ

6. eラーニング受講前の外部講師として学ぶ機会について：

6. eラーニング受講前の外部講師として学ぶ機会について：

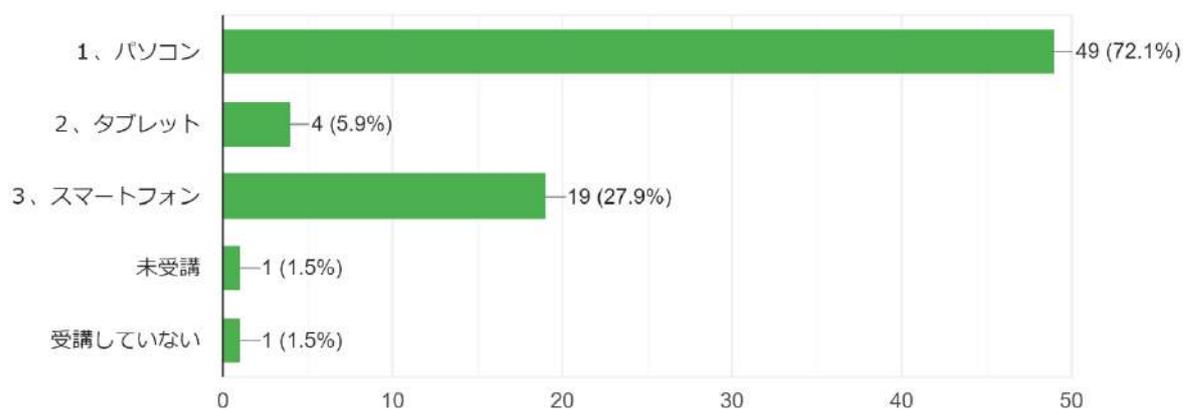
68件の回答



7. eラーニングを登録・受講した端末について（複数回答可）

7. eラーニングを受講した端末について（複数回答可）

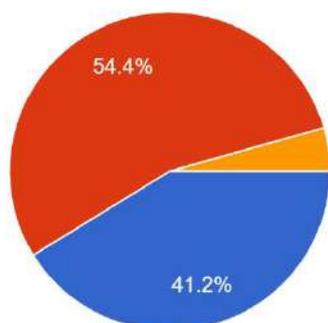
68件の回答



8. eラーニング受講システムについて

(1) ユーザー登録手順

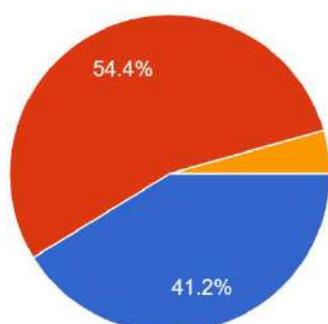
68件の回答



- 1、簡単だった
- 2、ふつう
- 3、難しかった

(2) 受講する操作

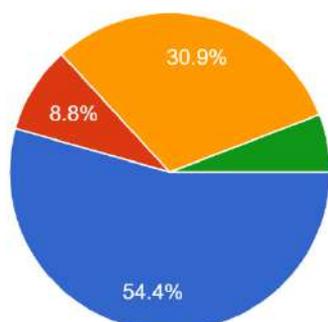
68件の回答



- 1、簡単だった
- 2、ふつう
- 3、難しかった

9. 今後のeラーニング受講について

68件の回答

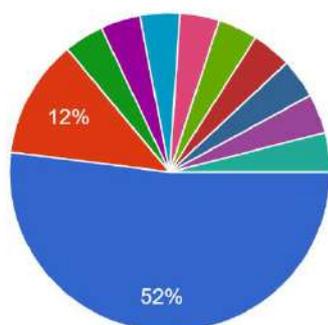


- 1、現在、受講している
- 2、今後、受講する予定である
- 3、受講しようとしたが、ストップしている
- 4、今後、受講する予定はない

9-1. 上記で3, 4と答えた方は以下にお進みください。
現在、受講していない理由について教えてください。

現在、受講していない理由について教えてください。

25件の回答



- 1、受講するまとまった時間がとれな...
- 2、問題が難しいため
- 3、思っていたものと違ったため
- 年齢、がんになった時期など随分前に...
- 申込操作が難しかった
- 終了後の登録を迷っているため
- 少し受講してみたが、自分自身のガン...
- テストの正解がちょっとへん?

▲ 1/2 ▼

～その他の理由～

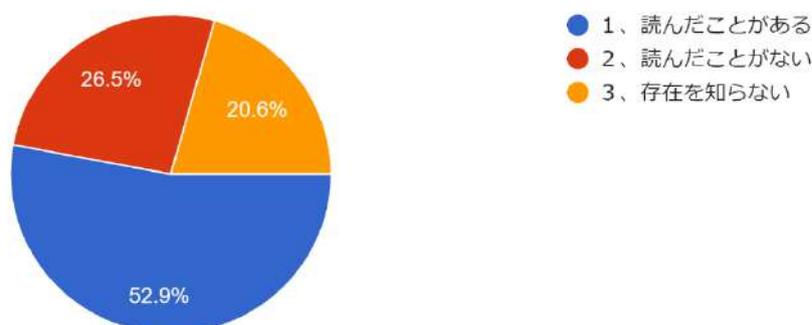
- 年齢、がんになった時期など随分前になったので、今の状況とは違っているの
- 申込操作が難しかった
- 終了後の登録を迷っているため
- 少し受講してみたが、自分自身のガンが軽かったため子供たちの前で語るには軽く、反対に遺族としての体験は重すぎて子供に上手く伝えられそうにない。受講はし始めたものの子供の前で話す自分がイメージできず、また何を伝えたいのか分からなくな
- テストの正解がちょっとへん?
- 忘れてた
- 実名を出したくない
- 再発治療を始めたから

9-2. 「現在、受講していない理由について教えてください。」で3、思っていたものと違ったためとお答えになった方

- 申込操作が難しかった
- がんだと地域の人に知られたくない
- 受講していくにつれてがん患者であることが辛くなったから

10. 全国がん患者団体連合会は「がん教育における配慮事項ガイドライン」を発行しています。ガイドラインについてお聴かせください。

10. 全国がん患者団体連合会は「がん教育におけ...ます。ガイドラインについてお聴かせください。
68件の回答



11. その他、お気づきの点があれば自由にお書きください

- e-ラーニングなので受講しやすい。ありがとうございます。
- テキストと講義がバランスよく整備されており、取り組み易く感じました。各章のまとめ問題もこれまでになく難しいものでした。
- まだ、はじめたばかりですが、テストがあるおかげで自己学習できます
- 深い知識を無料で得られること
- 意見するほどまだ学習していません。
- 知らないこともあり勉強になりました。
- かなり細かい所まで教育現場のことを学習することが出来るのだと驚きました。でも、外部講師をするなら、これを全てクリアしなければならないのかと思うと、ハードルが高くなるのではないのでしょうか。
- 今、仕事が忙しくて受講をストップしていますが、また続けたいと思います。
- 良い事だし大事な事だと思う、関われたらと思って参加しましたが、やはり新しく患者になった人がやった方が良いのではと感じました。
- 抗がん剤治療中で開始したため、受講がストップしています。が、終わり次第開始したいです。がん罹患者とし、がんの基礎知識を学べ、今後の治療に活かしていきたいです。
- あまりにも立派な方ばかりで、気持ちがいってしまいました。
- テストクリア条件が正解率 100%というのが難しかった
- ものすごく設問が難しいものがある。
- 初めてガンになり、初めて学ぶ事ばかりで、役に立ちましたが、コロナですし、活かす機会が無いのが残念です。学んだ知識と自信の経験を活かして、子ども達にガンの事、伝えて行きたいと思いません。
- オンラインで研修に参加しました。司会の方の雰囲気はとてとても良かったのですが、参加者に拳

動不審な人がいて、いやな気持ちになりました。それでも何回かオンラインの機会があれば、受講のモチベーションになると思います。

- e-ラーニングなら自分の都合のよいときに受講できるのでよい。わかりやすく作成されている。
- 講義はとてもよかったです。しかし、テストの正解がちょっとおかしいなと思いました。
- 途中からでも再開できると良い
- E-learning 受講後すぐにテストを受けたが、テストの質問と内容の関連性がよく理解できなかった。スマホなので資料が画面によく入らない。スマホの場合、資料の印刷方法が分からず今のところ中断している。
- 受講修了者の名前は、イニシャルにしてほしい
- お世話になります。良かった点…話し方や教示側の配慮点を知ることができました。改善点…スライド作成のフォローアップの時間が欲しいです。構成は一人で作成なので、個別に気軽に相談出来る場所があれば有難い。
- 外部講師として協力したいという思いがあって受講してみたが、配慮すべき事も多く知り、責任の重さを実感。少し自信がなくなった
- あまり学習が進んでいないので、特にありません
- まとまった時間がとれず歯痒い思いである
- 生きること、いのちについて向き合うことになっている。

がん教育外部講師養成プロジェクト評価委員会からの提言

がん教育外部講師養成プロジェクト評価委員会（以下、本委員会）では、

- ・評価内容の検討
- ・外部アドバイザリーボードによる評価項目のレビュー
- ・評価項目による評価の実施
- ・登録者（修了者と未修了者別）を対象としたアンケートの実施

により、総合的な評価を実施した。これらの評価結果をふまえ、本委員会として、次のがん教育外部講師養成推進に向けた提言をまとめた。

提言1. 各プログラム内容を見直し、修了者数の増加につとめるべきである。

e-ラーニングの修了者／未修了者（2021年5月末日現在）は、医療者 504名／312名、がん経験者・家族・遺族 447名／343名であり、未修了者は全体の4割に及んでいる。受講者を対象としたアンケート結果をみると、特に修了者の自由記述においてテスト問題の難易度に関する指摘が多い。この点は、評価委員会のコメントにも付されていることから、テスト問題の難易度や出題形式を見直し、受講動機を高める工夫が必要である。

また、未修了者を対象としたアンケート結果をみると、e-ラーニングを受講した端末についてスマートフォンを選択した者の割合（27.9%）が修了者（13.7%）よりも高かった。かつ、受講時間の確保が難しかったと回答した者の割合が5割を超えていた。こうした受講者側の事情を鑑みると、スマートフォンによる受講で意欲を削がないプログラム開発が求められる。

さらに、受講後の道筋が見えるようなフォローアップ体制を構築することも有用であろう。例えば、患者会に属さない個人が授業動画を視聴できたり、学校との連携のコツを好事例から学べたりするようなコンテンツなどが一案である。

提言2. がん教育が地域特性をふまえた学校健康教育の推進に資するものとなるよう、都道府県別登録者数の格差是正につとめるなど本プログラムをより有効活用すべきである。

全がん連ホームページで公開されているe-ラーニング修了者リスト（2021年5月末時点）を見ると、その登録状況に差はあるものの、多くの都道府県から受講しているという特徴がある。一方、アンケート結果からは、これまでに外部講師として学ぶ機会があったと回答した者は、修了者 28.9%、未修了者 16.2%と少ない。このことに表れているように、現在、外部講師向けがん教育研修は、文部科学省や都道府県教育委員会が実施するものをはじめ、県がん連や患者会、学会等アカデミア、がん啓発系団体など、限られている。

同時に、アンケート結果では、修了者・未修了者ともに、40～50代の比較的若い世代が多かった。他の同種のプログラム実施主体への聞き取りでも同様の傾向があるとのことから、がん教育は、この関心の高い保護者世代にコミットしてもらうことで社会に開かれた教育課程の実現に生かすプログラムとして有用である可能性がある。

これらをふまえ、今後は、本プログラムをより活用し、保護者世代の協力を得ることで、外部講師の都道府県格差を解消し、開かれた教育にもつなげることができる。そのためにも、医療者／患者別、都道府県別の年代別修了者数を明らかにするなどアンケート結果を詳細に分析し、戦略的にプログラムを推進するべきである。多くの都道府県に修了者・登録者リストを備える本プログラムが外部講師養成を担う役割の大きさを有効活用すべきである。

提言3. PDCA サイクルを見据え、本評価結果を生かしたがん教育の推進を計画的に実施すべきである。

アンケートでは、修了者・未修了者ともに、がん教育経験があると回答した者は、3割弱であった。がん教育が定着してくると、フォローアップ研修実施への需要が増加する可能性がある。新型コロナウイルスの感染拡大や予防という特殊事情のため、外部講師が学校に向くことが難しいという事情もふまえつつ、このような実態を今後もモニタリングし、対応を検討できるよう、多様な背景のメンバーからなる推進委員会等を設置するべきである。

なお、本評価結果および本提言は、本委員会の見解を示すものであり、本委員会メンバー個人の所属する団体や全国がん患者団体連合会の公式見解ではないことに留意する必要がある。